

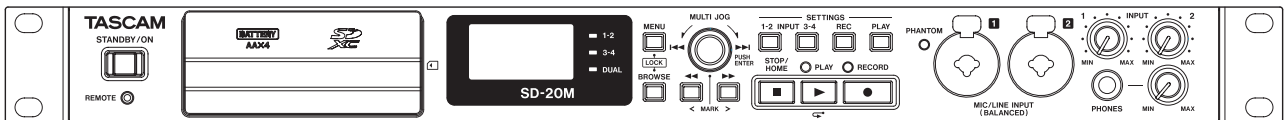
TASCAM

D01278301D

SD-20M

Solid State Recorder



取扱説明書



安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。








	<h2>警告</h2>	<p>以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
	<p>ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く</p>	<p>万一、異常が起きたら 煙が出た、変なおいや音がするときは 機器の内部に異物や水などが入ったときは この機器を落とした、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源を切り、必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）に修理をご依頼ください。</p>
	<p>指示</p>	<p>ACアダプターの電源プラグにほこりをためない ACアダプターの電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。定期的（年1回くらい）にACアダプターの電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。</p>
	<p>禁止</p>	<p>ACアダプターのコードを傷つけない ACアダプターのコードの上に重い物を載せたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない ACアダプターのコードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、ACアダプターのコードが破損したら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）をご依頼ください。</p>
	<p>禁止</p>	<p>付属のACアダプターや電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。</p>
	<p>禁止</p>	<p>交流100ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。</p>
	<p>禁止</p>	<p>この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し（20cm以上）離して設置する ラックなどに入れるときは、機器の天面から1U以上、背面から10cm以上の隙間を空ける 隙間を空けないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p>
	<p>禁止</p>	<p>この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込む、または落とさない 火災・感電の原因となります。</p>
	<p>禁止</p>	<p>機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。</p>
	<p>分解禁止</p>	<p>この機器のカバーは絶対に外さない カバーを外す、または改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご依頼ください。</p> <p>この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。</p>

	<p>注意 以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>
	<p>移動させる場合は、電源をオフ（スタンバイ状態）にし、必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。</p>
<p>ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く</p>	<p>旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となる場合があります。</p>
 <p>指示</p>	<p>オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する また、接続は指定のコードを使用する</p>
	<p>電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となる場合があります。</p>
	<p>この機器はコンセントの近くに設置し、ACアダプターの電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐにACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。</p>
	<p>この機器には、付属の専用ACアダプターを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない 火災・感電やけがの原因となる場合があります。</p>
	<p>ACアダプターの電源プラグを抜くときは、ACアダプターの電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となる場合があります。 必ずプラグを持って抜いてください。</p>
 <p>禁止</p>	<p>濡れた手でACアダプターの電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となる場合があります。</p>
 <p>注意</p>	<p>5年に1度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。 内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となる場合があります。 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。</p>

安全にお使いいただくために

電池の取り扱いについて

本機は、電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどを避けるため、以下の注意事項を必ず守ってください。

 警告 乾電池に関する警告	
 禁止	乾電池は絶対に充電しない 破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。
 警告 電池に関する警告	
 強制	電池を入れるときは、極性表示（プラスとマイナスの向き）に注意し、電池ケースに表示されている通りに正しく入れる 間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく 液が漏れて火災・けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一漏れた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。
 禁止	指定以外の電池は使用しない 新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない 破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損することがあります。
	炎天下の車内や暖房器具のそばなど、温度が高くなる所で保管しない 本体の変形によるショートや発火、故障、電池の劣化の原因となります。
 注意 電池に関する注意	
 禁止	金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない ショートして液漏れや破裂などの原因となることがあります。
 分解禁止	分解しない 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。
 注意	保管や廃棄をする場合は、他の電池や金属の物と接触しないようにテープなどで端子を絶縁してください。
	使い終わった電池は、電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村の廃棄方法にしたがって捨ててください。

安全にお使いいただくために	2	録音中にファイルを切り換えて録音を続ける (ファイルスプリット)	23
電池の取り扱いについて	4	録音中に手でファイルスプリットする	23
第1章 はじめに	7	設定した時間で自動的にファイルスプリットする	23
本機の概要	7	録音を自動で開始する (自動録音)	24
本製品の構成	7	オートレック機能を設定する	24
本書の表記	7	オートレック機能を使って録音する	24
商標および著作権に関して	8	マーク機能を使う	24
設置上の注意	8	録音中に手でマークを付ける	24
結露について	8	録音中に自動でマークを付ける	24
製品のお手入れ	8	マークの位置への移動	24
SDカードについて	9	異なる入力レベルで同時に2系統の録音をする (DUAL REC)	25
取り扱い上の注意	9	デュアル録音の設定をする	25
ユーザー登録について	9	デュアル録音を開始する	25
アフターサービス	9	デュアル録音時のファイル名	25
第2章 各部の名称と働き	10	録音時間について	26
フロントパネル	10	第5章 フォルダーやファイルの操作 (ファイル / フォルダ画面)	27
フロントカバー内	11	ファイル / フォルダ画面を開く	27
リアパネル	12	ファイル / フォルダ画面内のナビゲーション	27
ホーム画面	12	BROWSE画面内のアイコン表示	27
録音画面	13	フォルダー操作	27
メニューの構成	13	ファイル操作	28
メニュー画面の基本操作	14	新しいフォルダーを作成する	28
メニュー操作の手順	14	プレイリスト	29
操作の基本	14	プレイリストに登録する	29
第3章 準備	15	プレイリストを編集する	29
接続する	15	第6章 再生	30
電源の準備	16	再生設定画面を開く	30
電源について	16	再生対象	30
ACアダプターで使用する	16	再生対象を設定する	30
単3形電池で使用する	16	ファイル / フォルダ画面を使って	
電源をオンにする / オフ (スタンバイ状態) にする	17	再生対象のフォルダーを選択する (1)	30
電源をオンにする	17	ファイル / フォルダ画面を使って	
電源をオフ (スタンバイ状態) にする	17	再生対象のフォルダーを選択する (2)	30
リジューム機能	17	再生する	31
言語を選択する	17	一時停止する	31
日時を設定する	17	停止する	31
SDカードを挿入する / 取り出す	18	早戻し / 早送りをする (サーチ)	31
挿入する	18	再生するファイルを選択する (スキップ)	31
取り出す	18	再生スピードを変える (Variable Speed機能)	31
SDカードのライトプロテクトスイッチについて	18	再生モードを設定する	32
SDカードを使えるようにする	18	繰り返し再生する (リピート再生)	32
キーロック機能の設定	18	再生中に数秒前に戻り再生し直す (ジャンプバック再生)	32
第4章 録音	19	第7章 各種設定および情報表示	33
ファイルの保存先を設定する	19	選択ファイルを手で分割する (ファイル分割)	33
入力 1-2画面 / 入力 3-4画面を開く	19	ファイル名の形式を設定する	33
録音設定画面を開く	19	文字 (WORD) の設定	33
録音する入力ソースを設定する	19	数字 (COUNT) の初期化設定	33
入力レベルを調節する	20	メディア情報を見る	34
ローカットフィルターを設定する	20	出荷時の設定に戻す	34
ファントム電源を設定する	21	SDカードをフォーマットする	34
レベルコントロール機能を使う	21	出力レベルを設定する	35
ファイルフォーマット / サンプリング周波数を設定する	22	環境設定	35
録音する (MONO / STEREO / 4ch録音)	22	電池の種類の設定	35
録音を開始する	22	電源のオートパワーセーブ機能の設定	35
MONO / STEREO録音時の場合のファイル名	22		
4チャンネル録音時の場合のファイル名	22		
録音開始の少し前から録音する (プリ録音)	23		

目次

バックライトの設定.....	35
ディスプレイのコントラスト調節.....	35
システム情報を見る.....	35
表示言語を設定する.....	35
第8章 REMOTE端子を使う.....	36
フットスイッチを使う (TASCAM RC-3F).....	36
フットスイッチを設定する.....	36
フットスイッチを使う.....	36
リモコンを使う (TASCAM RC-10).....	36
ワイヤードリモコンを設定する.....	36
ワイヤードリモコンを使う.....	36
第9章 メッセージ.....	37
第10章 トラブルシューティング.....	39
第11章 仕様.....	40
定格.....	40
入出力定格.....	40
アナログオーディオ入出力定格.....	40
コントロール入出力定格.....	40
オーディオ性能.....	40
一般.....	40
寸法図.....	41

このたびは、TASCAM Solid State Recorder SD-20Mをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られる所に保管してください。

また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) からダウンロードすることができます。

本機の概要

- 記録メディアにSD/SDHC/SDXCカードを採用したオーディオレコーダー
- 同時に最大4チャンネルの録音が可能
- 44.1k/48k/96kHz、16/24ビットのリニアPCM (WAV形式) 録音が可能
- WAV録音形式としてBWF (Broadcast Wave Format) に対応
- 32k ~ 320kbpsのMP3形式での録音が可能 (ID3 tag v2.4 対応)
- 異なるレベルで2系統の録音を同時に行うことができるデュアル録音
- 音声の入力レベルを感知して、自動で録音を開始するオートレック機能
- 録音を継続したまま、あらかじめ設定した時間や任意の位置でファイルを更新できるファイルスプリット機能
- 録音開始2秒前からの音を録音できるブリレック機能
- 常に最適なレベルで録音できるオートレベル機能
- 入力レベルが大きすぎる場合にその部分だけ適度なレベルに自動的に調節するリミッター機能
- 低域ノイズの低減に便利な3段階のローカットフィルター
- 音程を変えずに再生スピードを0.5倍から1.5倍まで (0.1倍単位) 可変できるVariable Speed機能
- 再生中にボタンのワンタッチで数秒前に戻って再生し直すジャンプバック再生機能
- プレイリスト機能
- 特定の位置への移動に役立つマーク機能
- マーク機能で付けた特定の位置や任意の位置でファイルを分割するディバイド機能 (WAVファイルのみ)
- ファイル名の形式をユーザーワードまたは日付のどちらかに設定可能
- 電源をオフにする前の再生位置を記憶しておくリジューム機能
- 128 x 64のバックライト付きドットマトリックスタイプLCD
- ACアダプター (付属: TASCAM PS-P1220E) に加え、単3形電池4本での駆動も可能
- 2つのバランスマイク/ライン入力(XLR / TRSコンボジャック)
- 1Uラックマウントサイズ

本製品はアナログ・デバイス社製16/32ビット Blackfin®組み込みプロセッサを搭載し製品のデジタル信号処理と制御を行っています。

このBlackfin®プロセッサを搭載することにより製品の高性能化・省電力化を実現しています。

本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。

梱装箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管してください。付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、タスカム カスタマーサポート (巻末に記載) までご連絡ください。

- 本体 x1
- ACアダプター (TASCAM PS-P1220E) x1
- ラックマウントビスキット x1
- 取扱説明書 (本書、保証書付き) x1

注意

本機をご使用する際は必ず、付属の専用ACアダプター (TASCAM PS-P1220E) をご使用ください。また、付属のACアダプターを他の機器に使用しないでください。故障、火災、感電の原因となります。

メモ

付属の専用ACアダプター (TASCAM PS-P1220E) には、交換用のコンセントプラグが付属しています。交換方法については、16ページ「コンセントプラグの交換方法」をご参照ください。

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機のボタン/端子などを「MENUボタン」のように太字で表記します。
- ディスプレーに表示される文字を“ファイル / フォルダ”のように表記します。
- 「SD/SDHC/SDXCメモリーカード」のことを「SDカード」と表記します。
- パソコンのディスプレイ上に表示される文字を《OK》のように《 》で括って表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などを記載します。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

第1章 はじめに

商標および著作権に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- SDXCロゴは、SD-3C, LLC の商標です。



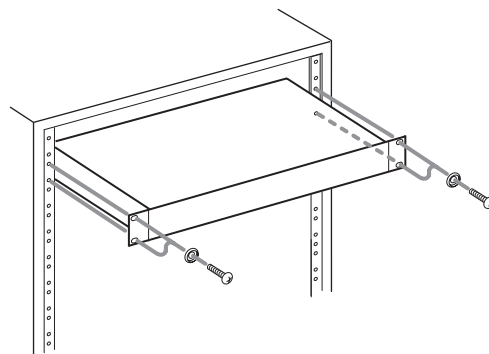
- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
- Supply of this product does not convey a license nor imply any right to distribute MPEG Layer-3 compliant content created with this product in revenue-generating broadcast systems (terrestrial, satellite, cable and/or other distribution channels), streaming applications (via Internet, intranets and/or other networks), other content distribution systems (pay-audio or audio-on-demand applications and the like) or on physical media (compact discs, digital versatile discs, semiconductor chips, hard drives, memory cards and the like). An independent license for such use is required. For details, please visit <http://mp3licensing.com>.
- Blackfin と Blackfin ロゴは、Analog Devices, Inc. の登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに関します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示すものではございません。従いまして、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、またはこれらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

第三者の著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。装置の適正使用をお願いします。弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負致しません。

設置上の注意

- 本機の動作保証温度は、摂氏0度～40度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質悪化の原因、または故障の原因となります。
 - 振動の多い場所
 - 窓際などの直射日光が当たる場所
 - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
 - 極端に温度が低い場所
 - 湿気が多い場所や風通しが悪い場所
 - ほこりの多い場所
- 放熱をよくするために、本機の上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。
- 本機をラックにマウントする場合は、付属のラックマウントビスキットを使って、下図のように取り付けてください。なお、ラック内部では、本機の上に1UI以上のスペースを空けてください。



結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置してから電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷める、または色落ちさせる原因となります。

SDカードについて

本機では、SDカードを使って録音や再生を行います。使用できるカードは、64MB～2GBのSDカード、4GB～32GBのSDHCカード、および48GB～128GBのSDXCカードです。

TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) には、当社で動作確認済みのSDカードのリストが掲載されていますので、ご参照ください。もしくは、タスカム カスタマーサポートまでお問い合わせください。

取り扱い上の注意

SDカードは、精密にできています。SDカードの破損を防ぐため、取り扱いに当たって以下の点をご注意ください。

- 極端に温度の高いあるいは低い場所に放置しないこと。
- 極端に湿度の高い場所に放置しないこと。
- 濡らさないこと。
- 上に物を載せたり、ねじ曲げたりしないこと。
- 衝撃を与えないこと。
- 録音、再生状態やデータ転送などアクセス中に、抜き差しを行わないこと。
- 持ち運ぶ際、メモリーカードケースなどに入れて運ぶこと。

ユーザー登録について

TASCAMのウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願い致します。

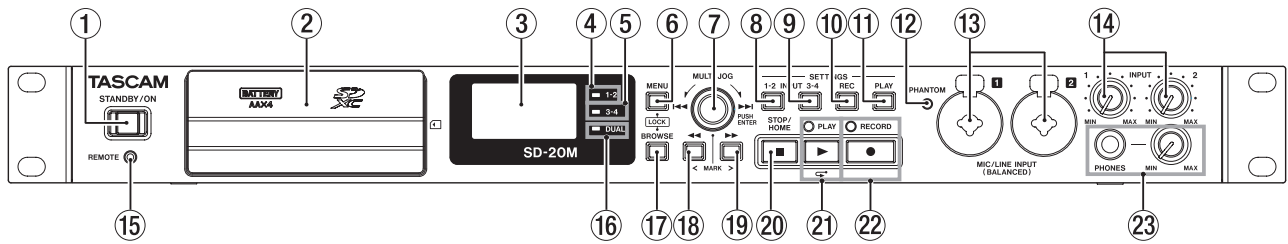
<https://tascam.jp/jp/login>

アフターサービス

- この製品には、保証書が添付（巻末に記載）されています。大切に保管してください。万が一販売店の捺印やご購入日の記載がない場合は、無料修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できる物を一緒に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。保証期間中は、記載内容によりティアック修理センター（巻末に記載）が無償修理致します。その他の詳細については、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）までご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。
なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。本機を使ったシステム内の記録メディアなどの記憶内容を消失した場合の修復に関しては、補償を含めて当社は責任を負いかねます。
 - 型名、型番（SD-20M）
 - 製造番号（Serial No.）
 - 故障の症状（できるだけ詳しく）
 - お買い上げ年月日
 - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先については、巻末をご参照ください。
- 本機を廃棄する場合に必要となる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

第2章 各部の名称と働き

フロントパネル



① STANDBY/ONボタン

このボタンを押し続けると、電源のオン/オフ（スタンバイ状態）の切り換えを行います。

MENUボタンを押しながら電源をオンにすると、ディスプレイに表示する言語を設定するための画面が表示されます。（→ 35ページ「表示言語を設定する」）

注意

電源を入れる前には、接続機器の音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

② フロントカバー

電池ケースとSDカードスロットのカバーです。

③ ディスプレー

各種情報を表示します。

④ 1-2インジケータ

入力 1-2 画面の入力項目がモノラル（1）またはステレオに設定されているときに点灯します。（→ 19ページ「録音する入力ソースを設定する」）

⑤ 3-4インジケータ

入力 3-4 画面の入力項目がオンに設定されているときに点灯します。（→ 19ページ「録音する入力ソースを設定する」）

⑥ MENUボタン

ホーム画面表示中にこのボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。

メニュー画面表示中にこのボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

各種設定画面を表示中に、このボタンを押したときも、メニュー画面に戻ります。

BROWSEボタンとこのボタンを同時に押すと、ボタンロック画面が表示されます。（→ 18ページ「キーロック機能の設定」）

⑦ MULTI JOGダイヤル

このダイヤルは、回して使うホイール機能と、押して使うボタン機能を兼ね備えています。

【ホイール機能】

- 停止中/再生中に「▶▶」方向に回すと、次のファイルにスキップします。
- 停止中/再生中に「◀◀」方向に回すと、ファイルの先頭から1秒以内の場合には手前のファイルにスキップします。ファイルの先頭から1秒以降の場合には、ファイルの先頭に戻ります。
- メニューモード時、メニュー項目の選択や設定値の選択を行います。
- 名前の編集時、文字の選択を行います。
- ファイル / フォルダ画面表示中に回すと、同フォルダ内のフォルダ / ファイルを選択することができます。（→

27ページ「ファイル / フォルダ画面内のナビゲーション」）

【ボタン機能】

- 選択や設定を確定します（ENTERボタン機能）。
- 各種設定画面を表示中、カーソルを左右に移動します。
- ファイル / フォルダ画面表示中に押すと、選択中のフォルダ / ファイルのフォルダメニュー / ファイルメニューをポップアップ表示します。（→ 27ページ「フォルダ操作」）、（→ 28ページ「ファイル操作」）
- 録音中に押すと、マークを付けます。（→ 24ページ「録音中に手でマークを付ける」）

⑧ INPUT SETTINGS 1-2ボタン

このボタンを押すと、入力 1-2 画面が表示されます。（→ 19ページ「入力 1-2画面 / 入力 3-4画面を開く」）

入力 1-2 画面を表示中にこのボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

⑨ INPUT SETTINGS 3-4ボタン

このボタンを押すと、入力 3-4 画面が表示されます。（→ 19ページ「入力 1-2画面 / 入力 3-4画面を開く」）

入力 3-4 画面を表示中にこのボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

⑩ REC SETTINGSボタン

このボタンを押すと、録音設定画面を表示します。（→ 19ページ「録音設定画面を開く」）

録音設定画面表示中に押すと、ホーム画面に戻ります。

⑪ PLAY SETTINGSボタン

このボタンを押すと、再生設定画面を表示します。（→ 30ページ「再生設定画面を開く」）

再生設定画面表示中に押すと、ホーム画面に戻ります。

⑫ PHANTOMインジケータ

ファントム電源がオンのときインジケータが点灯します。

⑬ MIC/LINE INPUT (BALANCED) 1 / 2端子

XLRバランスタイプのアナログマイク入力と、TRS標準ジャックのバランスアナログ入力端子です。

XLR (1 : GND, 2 : HOT, 3 : COLD)

TRS (Tip : HOT, Ring : COLD, Sleeve : GND)

注意

- 接続する前に、本機および接続する機器の電源を全てオフまたはスタンバイ状態にしてください。
- MIC/LINE INPUT (BALANCED) 1 / 2**端子にライン機器を接続する場合は、ファントム電源がオフになっていることを確認してください。ファントム電源が供給されている状態でライン機器を接続すると、ライン機器および本機の故障の原因になります。
- ファントム電源をオンにした状態で、**MIC/LINE INPUT (BALANCED) 1 / 2**端子にマイクの抜き差しをしないでください。大きなノイズを発生し、機器が故障する恐れがあります。
- ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクを使用する場合のみ、ファントム電源をオンにしてください。ファントム電源を必要としないダイナミックマイクなどを接続しているときにファントム電源をオンにすると、本機および接続中の機器が故障する恐れがあります。
- ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクとダイナミックマイクを合わせて使用する場合は、必ずバランスタイプのダイナミックマイクをご使用ください。アンバランスタイプのダイナミックマイクを混用することはできません。
- リボンマイクの中には、ファントム電源を供給すると故障の原因になるものがあります。疑わしい場合は、リボンマイクにファントム電源を供給しないでください。
- コンデンサーマイクによっては、48Vに設定されたファントム電源では動作しないものもあります。

14 INPUT 1-2つまみ

入力レベルを調節します。

15 REMOTE端子 (φ2.5mm TRSジャック)

別売の専用フットスイッチ (TASCAM RC-3F)、専用ワイヤードリモコン (TASCAM RC-10) を接続します。リモコンによる再生、停止などの操作が可能になります。

16 DUALインジケーター

デュアル録音の設定がオンのときに点灯します。(→ 25ページ「デュアル録音の設定をする」)

17 BROWSEボタン

このボタンを押すと、**ファイル / フォルダ** 画面を表示します。(→ 27ページ「ファイル / フォルダ画面を開く」)

ファイル / フォルダ 画面表示中にこのボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

MENUボタンとこのボタンを同時に押すと、**ボタンロック** 画面が表示されます。(→ 18ページ「キーロック機能の設定」)

18 ◀◀ボタン

停止中または再生中にこのボタンを押すと、前のマークに移動します。

再生中にこのボタンを押し続けると、早戻しサーチを行います。各種設定画面を表示中に、画面内のカーソルを左に移動します。**ファイル / フォルダ** 画面では、階層を戻ります。

19 ▶▶ボタン

停止中または再生中にこのボタンを押すと、次のマークに移動します。

再生中にこのボタンを押し続けると、早送りサーチを行います。録音中にこのボタンを押すと、ファイル番号が更新されます。(→ 23ページ「録音中に手動でファイルスプリットする」)

各種設定画面を表示中に、画面内のカーソルを右に移動します。**ファイル / フォルダ** 画面では、階層を進みます。ファイルが選択されているときは、ファイルをロードしてホーム画面に戻り停止します。

20 STOP/HOME [■] ボタン

再生中にこのボタンを押すと、その位置で再生を停止します (一時停止)。

一時停止中にこのボタンを押すと、その再生ファイルの先頭に戻ります。

録音待機中または録音中にこのボタンを押すと、録音を停止します。

各種設定画面を表示中に押すと、ホーム画面に戻ります。

21 PLAY [▶] ボタン / インジケーター

ホーム画面で停止中に押すと、再生を始めます。

再生中は、**PLAY**インジケーターが点灯します。

再生中に押すと、ジャンプバック再生を行います。

録音待機中に押すと、録音を開始します。

録音中は、**RECORD**インジケーターが点灯します。

ファイル / フォルダ 画面表示中にフォルダまたはファイルを選択した状態でこのボタンを押すと、ホーム画面に戻りそのフォルダまたはファイルの最初から再生します。

22 RECORD [●] ボタン / インジケーター

停止中に押すと録音待機状態になり、**RECORD**インジケーターが点滅します。

録音待機中に押すと録音を開始し、**RECORD**インジケーターが点灯します。

録音中に押すと、録音一時停止になります。

23 PHONES端子 / つまみ

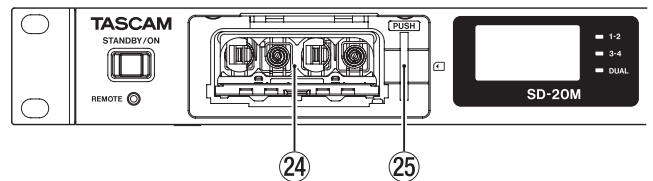
ステレオヘッドホンを接続するためのステレオ標準ジャックです。ミニプラグのヘッドホンを接続する場合は、変換アダプターをご使用ください。

PHONESつまみでヘッドホン出力レベルを調節します。

注意

ヘッドホンに接続する前には、**PHONES**つまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

フロントカバー内



24 電池ケース

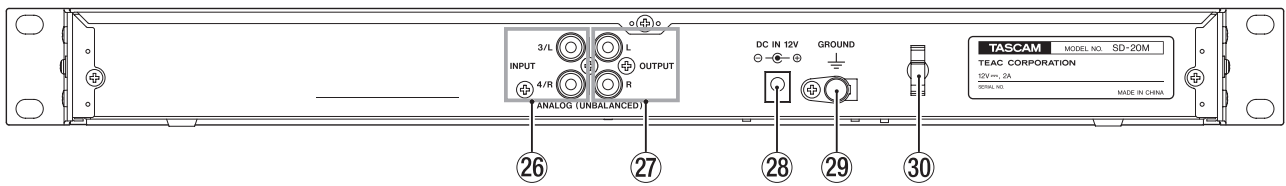
本機の電源になる電池 (単3形電池、4本) を収納するケースです。(→ 16ページ「単3形電池で使用する」)

25 SDカードスロット

SDカードを挿入するカードスロットです。

第2章 各部の名称と働き

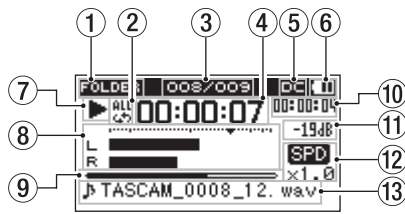
リアパネル



- 26 ANALOG (UNBALANCED) INPUT 3/L / 4/R端子**
アナログ入力端子 (RCAピンジャック) です。
規定入力レベルは、-10dBVです。
- 27 ANALOG (UNBALANCED) OUTPUT L / R端子**
アナログ出力端子 (RCAピンジャック) です。
規定出力レベルは、-10dBVです。
- 28 DC IN 12V端子**
付属の専用ACアダプター (TASCAM PS-P1220E) を接続します。

- 29 GROUND端子**
環境によりモニター音にノイズが発生することがあります。その場合には、この端子をグラウンドに接続してください (ケーブルはお客様でご用意ください)。
- 30 コードホルダー**
付属の専用ACアダプターのコードを引っ掛けてプラグの抜け落ちを防止します。

ホーム画面



- ① 再生対象表示**
現在の再生ファイルの範囲を表示します。
ALL : SOUNDフォルダー内の全ファイル
FOLDER : 選択したフォルダー内の全ファイル
P.LIST : プレイリストに登録されたファイル
- ② リピート再生の設定状態表示**
状況に応じて、以下のアイコンを表示します。
🔁 : シングル再生
🔁🔁 : 1ファイルリピート再生
🔁🔁🔁 : 全再生ファイルリピート再生
- ③ カレント再生ファイル番号 / 総ファイル数**
再生対象範囲の総ファイル数と現在のファイル番号を表示します。
- ④ 経過時間表示**
現在のファイルの経過時間 (時 : 分 : 秒) を表示します。
- ⑤ DC入力状態表示**
付属の専用ACアダプター (TASCAM PS-P1220E) から電源を供給時は、 を表示します。
- ⑥ 電池供給の状態表示**
電池供給時は、電池アイコンを表示します。
電池残量に応じて、目盛りが表示されます (, ,)。目盛り表示がなくなると が点滅し、電池切れのためにまもなく電源がオフになります。
本機に電池が挿入されていないときには、 を表示します。

メモ

残量がなくなる前でも録音など消費電力の大きい動作を行おうとすると、**電池残量がありません** の警告のポップアップメッセージが出る場合があります。

- ⑦ レコーダーの状態表示**
レコーダーの動作状況をアイコン表示します。

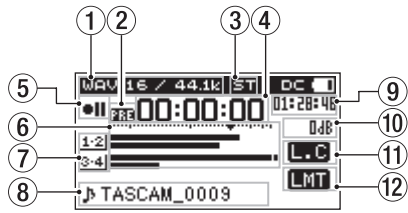
表示	内容
	停止中
	一時停止中
	再生中
	早送り中
	早戻し中
	次のファイルの先頭にスキップ
	現在または手前のファイルの先頭にスキップ

- ⑧ レベルメーター**
入力音または再生音のレベルを表示します。
- ⑨ 再生位置表示**
現在の再生位置をバー表示します。再生の経過とともに、左からバーが伸びていきます。
- ⑩ 残量時間表示**
現在のファイルの残量時間 (時 : 分 : 秒) を表示します。
- ⑪ ピーク値のデシベル (dB) 表示**
一定時間ごとに、その期間の再生レベルの最大値を、デシベル表示します。
- ⑫ 再生速度の状態表示**
Variable Speed機能のオン / オフ状態と再生速度を表示します。(→ 31ページ「再生速度を変える (Variable Speed機能)」)
表示なし : Variable Speed機能オフ
 : Variable Speed機能オン
- ⑬ ファイル名表示**
再生中のファイル名、またはタグ情報を表示します。
ID3タグ情報を持つMP3ファイルの場合は、ID3タグ情報が優先して表示されます。

メモ

ID3タグ情報とは、MP3ファイルに保存可能なタイトルやアーティスト名の情報です。

録音画面



① 録音フォーマット表示

録音ファイルの形式、サンプリング周波数を表示します。(→ 22ページ「ファイルフォーマット/サンプリング周波数を設定する」)

② プリレック機能またはオートレック機能の設定状態表示

プリレック機能がオンの場合、録音待機中に **PR** アイコンが表示されます。

オートレック機能がオンの場合、録音待機中と録音中に **AUTO** アイコンが表示されます。

プリレック機能とオートレック機能がどちらもオンの場合、録音待機中に **PR** アイコンが表示されます。

③ 録音チャンネル数表示

録音ファイルのチャンネル数を表示します。

ST (ステレオ) / MN (モノラル)

④ 録音経過時間

録音ファイルの経過時間 (時:分:秒) を表示します。

⑤ レコーダー動作状態表示

レコーダーの動作状況をアイコン表示します。

表示	内容
●	録音待機中
●	録音中

⑥ レベルメーター

入力音のレベルを表示します。

目盛りには、-12dBの位置に入力レベル調整時の目印となる▼マークがあります。

⑦ 入力ソース表示

録音する入力ソースをアイコン表示します。(→ 19ページ「録音する入力ソースを設定する」)

アイコン表示	内容
1-2	MIC/LINE INPUT (BALANCED) 1 / 2端子から入力して録音
1	MIC/LINE INPUT (BALANCED) 1端子から入力して録音
3-4	ANALOG (UNBALANCED) INPUT 3/L / 4/R端子から入力して録音
1-2 3-4	MIC/LINE INPUT (BALANCED) 1 / 2端子とANALOG (UNBALANCED) INPUT 3/L / 4/R端子から入力して4ch録音
1-2 -12	デュアル録音モードの入力ソースとデュアル録音するモード設定を表示 (→ 25ページ「デュアル録音の設定をする」)
1-2 L.M	
1-2 A.T	

⑧ ファイル名表示

録音するファイルに自動的に付けられるファイル名を表示します。

4チャンネル録音モードまたはデュアル録音モードで録音された複数ファイルの場合は、プロジェクト名を表示します。

⑨ 録音残時間

設定した最大ファイルサイズに対する残時間 (時:分:秒) を表示します。ただし、SDカードの残り時間の方が少ない場合はそちらを表示します。

⑩ ピーク値のデシベル (dB) 表示

入力レベルのピーク値をデシベル表示します。

⑪ ローカットフィルターオン/オフ状態表示

ローカットフィルターのオン/オフ状態を表示します。(→ 20ページ「ローカットフィルターを設定する」)

40Hz、80Hz または 120Hz 設定時にアイコンを表示します。

表示なし : ローカットフィルターオフ

L.C : ローカットフィルターオン

⑫ レベルコントロール機能状態表示

レベルコントロール機能のオン/オフ状態を表示します。(→ 21ページ「レベルコントロール機能を使う」)

表示なし : レベルコントロール機能オフ

L.M.T : リミッター機能オン

A.L.C : オートレベルコントロール機能オン

メニューの構成

MENUボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。

メニュー項目は、以下の通りです。

メニュー項目	機能	参照ページ
ファイル分割	ファイルを分割。	→ 33ページ
ファイル名設定	ファイル名の形式を設定。	→ 33ページ
メディア情報	SDカード情報を表示。	→ 34ページ
設定初期化	初期設定状態に戻す。	→ 34ページ
SD初期化	SDカードのフォーマット。	→ 34ページ
電池タイプ	電池の種類の設定。	→ 35ページ
自動電源制御	電源の自動オフ設定。	→ 35ページ
リモコン	リモコンの設定。	→ 36ページ
出力レベル	接続機器の出力レベルの設定。	→ 35ページ
日時設定	日時の設定。	→ 17ページ
バックライト	バックライトの消灯時間設定。	→ 35ページ
画面の濃さ	ディスプレイのコントラスト調節。	→ 35ページ
言語	表示言語の設定。	→ 35ページ
システムバージョン	システム情報を表示。	→ 35ページ

注意

- 録音待機中または録音中、メニュー画面は表示されません。
- 各メニュー項目で設定した内容は、電源をオフにしても保持されます。

第2章 各部の名称と働き

メニュー画面の基本操作

メニュー画面の操作は、以下の操作で行います。

項目を選択する（画面の縦方向の選択）には：

MULTI JOGダイヤルを回します。

選択した項目を確定するには：

MULTI JOGダイヤルを押します。

画面に表示されていないサブ画面に進むには：

MULTI JOGダイヤルを押します。

メニュー階層を1つ戻るには：

MENUボタンを押します。

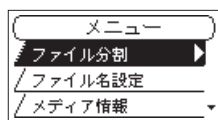
メニューモード中、ホーム画面に戻るには：

STOP/HOME [■] ボタンを押します。

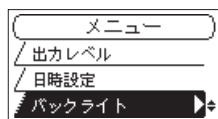
メニュー操作の手順

ディスプレイのバックライトの消灯時間設定を変更することを例に説明します。

1. MENUボタンを押して、メニュー画面を表示します。



2. MULTI JOGダイヤルを回して、メニュー項目を選択（反転表示）します。



[バックライト 選択時]

3. MULTI JOGダイヤルを押すと、各種設定画面に移動します。



[バックライト 画面]

4. MULTI JOGダイヤルを回して、設定を変更します。

5. MENUボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。

STOP/HOME [■] ボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

操作の基本

各種設定画面の操作には、次の操作子を使用します。

MENUボタン

メニュー画面を呼び出します。

メニュー画面表示中に押すと、ホーム画面へ戻ります。

MULTI JOGダイヤル

MULTI JOGダイヤルを回して、各種設定画面での項目の選択や値の変更を行います。また、ファイルの再生位置の移動にも使用します。

MULTI JOGダイヤルを押して、各種設定画面で選択されている項目を決定する、または確認のポップアップメッセージに対して「はい」または「いいえ」と答えるときに使います。

INPUT SETTINGS 1-2ボタン

入力 1-2 画面を呼び出します。

入力 1-2 画面表示中に押すと、ホーム画面へ戻ります。

INPUT SETTINGS 3-4ボタン

入力 3-4 画面を呼び出します。

入力 3-4 画面表示中に押すと、ホーム画面へ戻ります。

REC SETTINGSボタン

録音設定 画面を呼び出します。

録音設定 画面表示中に押すと、ホーム画面へ戻ります。

PLAY SETTINGSボタン

再生設定 画面を呼び出します。

再生設定 画面表示中に押すと、ホーム画面へ戻ります。

BROWSEボタン

ファイル / フォルダ 画面を呼び出します。

ファイル / フォルダ 画面表示中に押すと、ホーム画面へ戻ります。

▶▶ ボタン

設定画面内のカーソル（反転表示部）を右に移動するときや、ファイル / フォルダ 画面でフォルダを開くときに使用します。

◀◀ ボタン

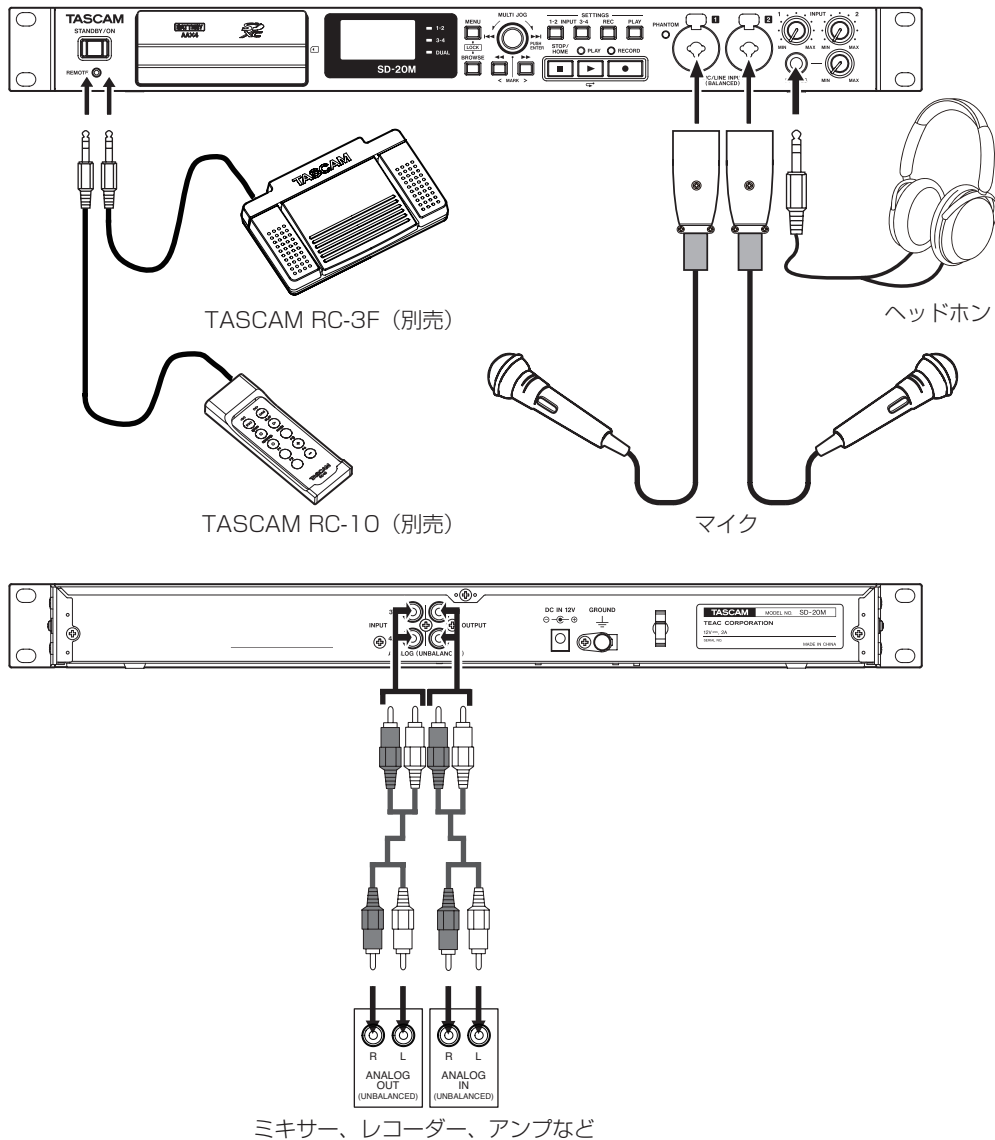
設定画面内のカーソル（反転表示部）を左に移動するときや、ファイル / フォルダ 画面でフォルダを閉じるときに使用します。

STOP/HOME [■] ボタン

各設定画面を表示中にSTOP/HOME [■] ボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

接続する

以下に、SD-20Mの接続例を示します。



[SD-20Mを使った接続例]

注意

- 接続を行う前に、外部機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく接続してください。
- 接続する前に、本機および接続する機器の電源を全てオフ（スタンバイ状態）にしてください。
- 各機器の電源は、同一のラインから供給するように設置します。テーブルタップなどを使う場合は、電源電圧の変動が少なくなるように、電流容量が大きい太いケーブルをご使用ください。
- ファントム電源は、2チャンネル毎の入力単位で切り換えます。アンバランスタイプのダイナミックマイクを接続している場合は、ファントム電源をオンに設定しないでください。
- ファントム電源をオンにした状態で、マイクの抜き挿しをしないでください。大きなノイズを発生し、本機および接続中の機器が故障する恐れがあります。
- リボンマイクの中には、ファントム電源を供給すると故障の原因になるものがあります。疑わしい場合は、リボンマイクにファントム電源を供給しないでください。
- PHONESつまみを下げた状態で、ファントム電源の切り換えを行ってください。大きなノイズを発生し、モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴力障害の原因になる可能性があります。
- 本機の入力レベルを調節しても、入力された音が歪んでいる場合は、外部機器の再生音量を小さくしてください。
- 外部機器の出力レベルを調節できないライン出力を接続した場合は、音量が大きい音源などではレベルオーバーとなり、調節できない場合があります。その場合には、レベル調節可能なヘッドホン端子などを接続してください。

第3章 準備

電源の準備

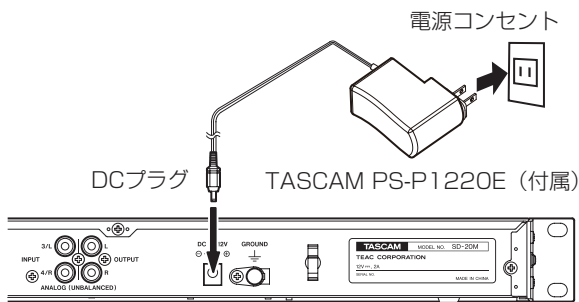
電源について

本機は、付属の専用ACアダプター（TASCAM PS-P1220E）接続、または単3形電池4本にて電源を供給します。

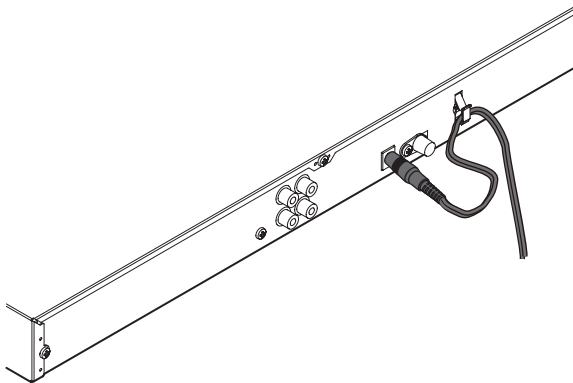
本機は、単3形アルカリ乾電池および単3形ニッケル水素電池、単3形リチウム乾電池も使用することができます。

ACアダプターで使用する

同梱されている付属の専用ACアダプター（TASCAM PS-P1220E）を使って、以下のように電源を本機に接続します。



使用中のコード抜けを防ぐため、接続するときはコードホルダーにコードを巻いてください。



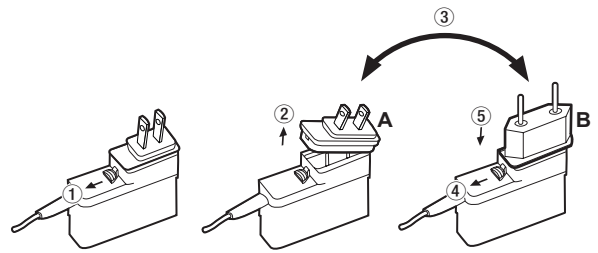
注意

必ず同梱されている専用ACアダプター（TASCAM PS-P1220E）をお使いください。他のACアダプターを使用すると故障、発熱、発火などの原因になります。

メモ

- 専用ACアダプターには、2種類のコンセントプラグが同梱されています。ご使用になる電源コンセントの形状に合ったコンセントプラグに取り替えてご使用ください。（→ 16ページ「コンセントプラグの交換方法」）
- 電池とACアダプターの両方をセットした場合は、ACアダプターから電源が供給されます。

コンセントプラグの交換方法



- ① ACアダプターのノブを矢印方向に移動させます。
- ② コンセントプラグを引き抜きます。
- ③ 付属のAまたはBのコンセントプラグに交換します。
- ④ もう一度、ACアダプターのノブを矢印方向に移動させます。
- ⑤ ACアダプターにコンセントプラグを差し込みます。

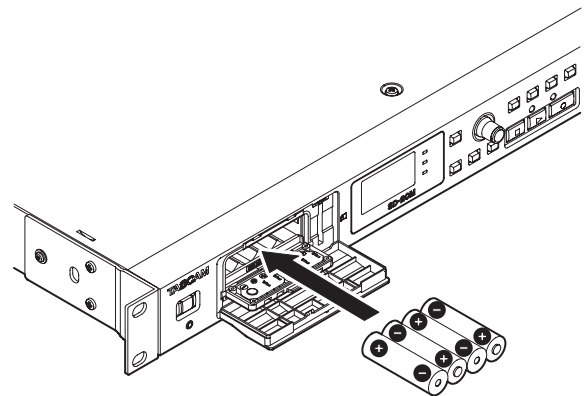
交換完了後にコンセントプラグの浮きやガタつきがないか確認し、異常がなければ電源コンセントに接続してください。

注意

交換後のコンセントプラグに異常がある場合は、使用を中止してください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）に修理をご依頼ください。

単3形電池で使用する

本機のフロントカバーと電池ケース蓋を開き、電池ケース内の⊕と⊖の表示に合わせて単3形電池を4本セットして、電池ケース蓋とフロントカバーを閉じます。



単3形電池で使用する時、電池の残量表示や正常動作に必要な最低残量を識別するために、電池の種類を設定してください。（→ 35ページ「電池の種類の設定」）

注意

- 単3形マンガン乾電池は、使用できません。
- 本機で単3形ニッケル水素電池を充電することはできません。市販の充電器をご使用ください。

メモ

コンデンサーマイクへファントム電源を供給した場合は、電力を多く消費します。単3形電池（アルカリ乾電池、ニッケル水素電池またはリチウム乾電池）で供給しているときに、コンデンサーマイクを使用すると稼働時間が短くなります。長時間稼働させたい場合は、付属の専用ACアダプター（TASCAM PS-P1220E）を使って、本機に電源を供給してご使用ください。

電源をオンにする／オフ（スタンバイ状態）にする

注意

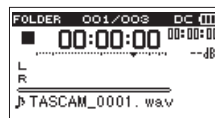
- 付属の専用ACアダプター（TASCAM PS-P1220E）使用時、電源をオフにするとスタンバイ状態になります。
- 本機の電源のオン／オフ（スタンバイ状態）は、本機に接続しているモニターシステムのボリュームを絞った状態で行ってください。
- 電源のオン／オフ（スタンバイ状態）時にヘッドホンを装着しないでください。ノイズによっては、スピーカーや聴覚を損傷する恐れがあります。

電源をオンにする

電源がオフ（スタンバイ状態）時に、**STANDBY/ON**スイッチを押し続け、**TASCAM SD-20M**（起動画面）が表示されたら離します。本機が起動してホーム画面が表示されます。



[起動画面]



[ホーム画面]

電源をオフ（スタンバイ状態）にする

電源オン時に、**STANDBY/ON**スイッチを押し続け、**LINEAR PCM RECORDER** と表示されたら離します。シャットダウン処理が実行されたあとに、電源がオフになります。

注意

電源をオフ（スタンバイ状態）にするときは、必ず**STANDBY/ON**スイッチで行ってください。
電源がオンのときに電池を外す、または付属の専用ACアダプター（TASCAM PS-P1220E）で使用しているときに電源コードを抜くと録音データや設定などが全て失われます。なお、失われたデータや設定は、復活することができません。

リジューム機能

本機は、リジューム機能を搭載しており、電源をオンにしたときに、前回電源をオフ（スタンバイ状態）にしたときの位置（時間）にリセットします。

電源投入後、**PLAY** [▶] ボタンを押すと電源をオフ（スタンバイ状態）にした時点のファイルの再生位置（時間）から再生することが可能です。

メモ

この内容は、SDカードに記録されているため、カードを入れ換える、またはフォーマットした場合には、リジュームできません。

言語を選択する

お買い上げ後、最初に電源を入れたときは、以下の初期設定を行う必要があります。

1. ディスプレーに表示される言語を設定するための画面が表示されます。



MULTI JOGダイヤルを回してカーソル（反転表示部）を移動し、ディスプレイに表示される言語を選択します。

選択肢

ENGLISH : 英語で表示
日本語 : 日本語で表示

2. 選択が完了したら、**MULTI JOG**ダイヤルを押して確定します。

メモ

MENUボタンを押しながら電源をオンにすることで、言語を設定する画面を表示できます。

日時を設定する

本機は、本体内の時計を基に、録音したファイルに日時を記録します。

1. メニュー画面の**日時設定**項目を選択し、**日時設定**画面を表示します。（→ 14ページ「メニュー操作の手順」）



2. **MULTI JOG**ダイヤルを回して値を変更してから**MULTI JOG**ダイヤルを押して確定すると、カーソルが次の項目へ移動します。
「年」→「月」→「日」→「時」→「分」→「秒」を変更すると、カーソルが「年」に戻ります。
3. **MENU**ボタンを押すと確定し、メニュー画面に戻ります。

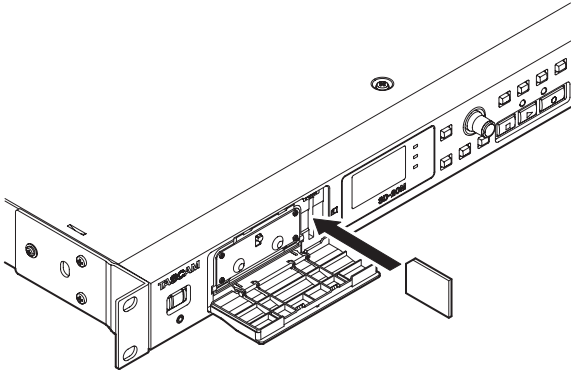
メモ

ここで設定した日時をファイル名に付けることができます。（→ 33ページ「ファイル名の形式を設定する」）

SDカードを挿入する／取り出す

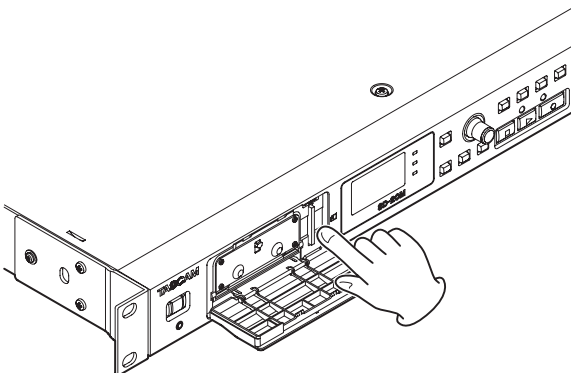
挿入する

1. フロントパネルのフロントカバーを開きます。
2. SDカードを図の方向にカチッと音がするまで差し込みます。



取り出す

1. フロントパネルのフロントカバーを開きます。
2. SDカードを軽く押し込んでから放すと手前に出てきます。

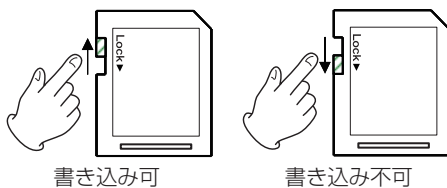


注意

- 録音、再生などカードアクセス中に、本機からSDカードを取り出さないでください。
- 使用できるSDカードは、SD/SDHC/SDXC規格に対応したカードです。
- TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) には、当社で動作確認済みのSDカードのリストが掲載されています。

SDカードのライトプロテクトスイッチについて

SDカードには、プロテクト(書き込み防止)スイッチが付いています。

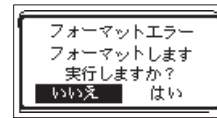


プロテクトスイッチを「LOCK」の方向へスライドするとファイルの記録や編集ができなくなります。録音や削除などを行う場合は、プロテクト(書き込み防止)スイッチを解除してください。

SDカードを使えるようにする

本機でSDカードを使えるようにするために、本機でフォーマットする必要があります。

1. SDカードが挿入されていることを確認し、電源をオンにします。
2. 新しいカード、または本機以外でフォーマットされたカードを挿入したとき、以下のようなポップアップメッセージが表示されます。



3. MULTI JOGダイヤルを回して「はい」を選択し、MULTI JOGダイヤルを押してフォーマットを開始します。フォーマットしない場合は「いいえ」を選択し、MULTI JOGダイヤルを押してメニュー画面に戻ります。

注意

フォーマットを行うと、カード上のデータは全て消去されます。

4. フォーマットが終了するとホーム画面に戻ります。また、本機ではいつでもフォーマットを行うことができます。

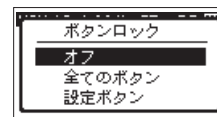
注意

フォーマットは、付属の専用ACアダプター (TASCAM PS-P1220E) を使用するか、電池の残量が十分な状態で行ってください。

キーロック機能の設定

本機は、フロントパネルのボタン操作を受け付けなくするキーロック機能を設定することができます。

1. MENUボタンを押しながらBROWSEボタンを押して、ボタンロック画面をポップアップ表示します。



2. ボタン操作を禁止する範囲をMULTI JOGダイヤルを回して選択し、押すことで設定します。

選択肢	内容
オフ (初期値)	ロック機能をオフにします。
全てのボタン	全てのボタンとMULTI JOGダイヤルの操作をロックします。
設定ボタン	MENUボタンおよび各SETTINGSボタンの操作をロックします。

3. 設定が終了すると、ホーム画面に戻ります。

メモ

- REMOTE端子に接続したリモコン (TASCAM RC-3F / RC-10) の操作は、ロックされません。
- キーロック機能がオンのときに操作が禁止されているボタンを押すと、ポップアップメッセージを表示します。



本機は、外部マイクあるいは外部オーディオ機器（CDプレーヤーなど）からの信号を録音することができます。

録音オーディオファイル形式は、MP3（32k～320kbps、44.1k/48kHz）、WAV / BWF（44.1k/48k/96kHz、16/24ビット）から設定可能です。

BWF（Broadcast Wave Format）に対応したWAVファイルは、録音中に付けたマークをBWF対応のソフトなどで使用することができます。

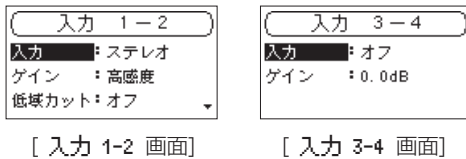
また本機では、異なるレベルで2系統の録音を同時に行うこと（デュアル録音）や、マイクを使用して外部オーディオ機器と同時に4チャンネルの録音をすることなど、様々な録音モードがあります。

ファイルの保存先を設定する

録音したファイルの保存するフォルダーを設定します。録音したファイルは、カレントフォルダー（現在選択されているフォルダー）に録音されます。詳細は、27ページ「フォルダー操作」のポップアップメニュー項目（**選択**）を参照してください。特に指定しない場合は、**SOUND** フォルダーの下にファイルが作成されます。

入力 1-2画面 / 入力 3-4画面を開く

入力 1-2 画面および 入力 3-4 画面を表示するには、**INPUT SETTINGS 1-2**ボタンまたは**INPUT SETTINGS 3-4** ボタンを押します。



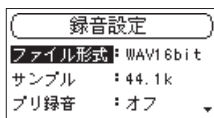
入力 1-2 画面および 入力 3-4 画面を表示中に**INPUT SETTINGS 1-2**ボタンまたは**INPUT SETTINGS 3-4** ボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

注意

録音待機中または録音中は、入力 1-2 画面の **ゲイン** 項目と **低域カット** 項目、および 入力 3-4 画面の **ゲイン** 項目のみ設定が可能です。

録音設定画面を開く

録音設定 画面を表示するには、**REC SETTINGS**ボタンを押します。



録音設定 画面を表示中に**REC SETTINGS**ボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

録音する入力ソースを設定する

入力 1-2 画面の **入力** 項目または 入力 3-4 画面の **入力** 項目で、録音する入力ソースを設定します。

1. 入力 1-2 画面または 入力 3-4 画面の **入力** 項目を選択します。（→ 19ページ「入力 1-2画面 / 入力 3-4画面を開く」）



2. 入力ソースを設定します。

画面	選択肢	内容
入力 1-2 画面	オフ	入力なし
	モノラル (1)	MIC/LINE INPUT (BALANCED) 1端子から入力
	ステレオ (初期値)	MIC/LINE INPUT (BALANCED) 1 / 2端子から入力
入力 3-4 画面	オフ (初期値)	入力なし
	オン	ANALOG (UNBALANCED) INPUT 3/L / 4/R端子から入力

3. 設定が終了したら、**STOP/HOME** [■] ボタンを押してホーム画面に戻ります。

メモ

- 入力 1-2 画面の **入力** 項目と 入力 3-4 画面の **入力** 項目を、同時に **オフ** にすることはできません。録音するチャンネルの入力ソースを設定後、もう一方のチャンネルを“**オフ**”してください。
- 入力 1-2 画面の **入力** 項目が **モノラル (1)** のときに、入力 3-4 画面の **入力** 項目を **オン** にすると、入力 1-2 画面の **入力** 項目の設定が強制的に **ステレオ** に切り換わります。
- 入力 3-4 画面の **入力** 項目が **オン** のときに 入力 1-2 画面の **入力** 項目を **モノラル (1)** に設定すると、入力 3-4 画面の **入力** 項目が強制的に **オフ** に切り換わります。

入力レベルを調節する

録音した音もしくは信号が入力が大きすぎて歪む、または小さすぎてノイズに埋もれてしまうことを避けるために、録音する前に入力レベルを調節する必要があります。

手動で調節する機能のほかにオートレベルとリミッターの2つのレベルコントロール機能もありますので、お好みに応じてお使いください。(→ 21ページ「レベルコントロール機能を使う」)

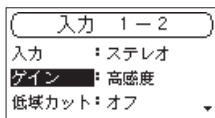
ヒント

入力レベルの調節だけでなく、マイクと音源との距離や向きを調節してみてください。また、マイクの向きや音源との距離によって音質が変わります。

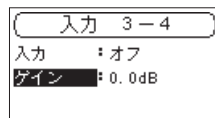
注意

レベルコントロール機能のオートレベルを選択(録音画面の経過時間表示の右側に **ALC** アイコンが表示)しているときは、手動での調節はできません。手動で入力レベルを調節するためには、レベルコントロール機能をオフまたは他のモードを選択してください。(→ 21ページ「レベルコントロール機能を使う」)

1. **INPUT SETTINGS 1-2** ボタンまたは **INPUT SETTINGS 3-4** ボタンを押して、**入力 1-2** 画面または **入力 3-4** 画面を表示します。(→ 19ページ「入力 1-2画面 / 入力 3-4画面を開く」)
2. **ゲイン** 項目を選択し、入力ゲインを設定します。



[入力 1-2 画面]



[入力 3-4 画面]

画面	選択肢	内容
入力 1-2 画面	高感度 (初期値)	マイクをMIC/LINE INPUT (BALANCED) 1 / 2端子に接続した場合。
	低感度	外部機器のライン出力端子をMIC/LINE INPUT (BALANCED) 1 / 2端子に接続した場合。
入力 3-4 画面	0dB ~ 16dB (初期値: 0dB、0.5dB 刻み)	外部機器のライン出力端子をANALOG (UNBALANCED) INPUT 3/L / 4/R端子に接続した場合の入力ゲインを設定

メモ

高感度 / 低感度 では、入力ゲインが異なります。入力の大きさに応じて選択を行います。どれを選択したらよいかわからない場合は、**低感度** を選択してください。そして入力レベル調節時に十分なレベルが得られない場合は、再び画面に戻って **高感度** に切り換えてください。

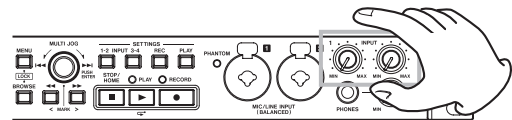
注意

この設定に合わせて入力レベルの設定範囲が切り換わります。そのため切り換えたときに入力レベルが大きく変化する場合がありますので、出力レベルを絞り切った状態で切り換えてください。

3. 調節が終了したら、**STOP/HOME** [■] ボタンを押してホーム画面に戻ります。
4. **RECORD** [●] ボタンを押して、録音待機状態にします。**RECORD**インジケーターが点滅し、録音画面が表示されます。



5. **INPUT 1-2**つまみを使って、入力レベルを調節します。

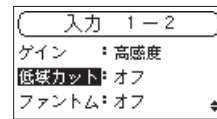


6. 調節が終了したら、**STOP/HOME** [■] ボタンを押して録音待機状態を解除します。

ローカットフィルターを設定する

ローカットフィルターを使用すると、空調機やプロジェクターなどによるノイズや耳障りな風切音などのノイズを低減することができます。

1. **入力 1-2** 画面の **低域カット** 項目を選択します。(→ 19ページ「入力 1-2画面 / 入力 3-4画面を開く」)



2. 入力時のローカットフィルターのカットオフ周波数を設定します。
選択肢: オフ (初期値)、40Hz、80Hz、120Hz
3. 設定が終了したら、**STOP/HOME** [■] ボタンを押してホーム画面に戻ります。

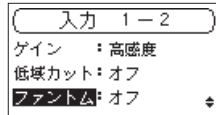
メモ

低域カット 項目は、録音中および録音待機中でも設定 / 変更することができます。

ファントム電源を設定する

MIC/LINE INPUT (BALANCED) 1 / 2端子にファントム電源を必要とする外部マイクを接続したとき、ファントム電源をオンにします。

1. 入力 1-2 画面の **ファントム** 項目を選択します。(→ 19 ページ「入力 1-2画面/入力 3-4画面を開く」)



2. ファントム電源のオン/オフを設定します。
選択肢: オフ (初期値)、オン
3. 設定が終了したら、STOP/HOME [■] ボタンを押してホーム画面に戻ります。

MIC/LINE INPUT (BALANCED) 1 / 2端子のファントム電源 (48V) がオンになりマイクに供給されます。

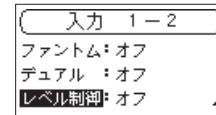
注意

- 接続する前に、本機および接続する機器の電源を全てオフまたはスタンバイ状態にしてください。
- MIC/LINE INPUT (BALANCED) 1 / 2端子にライン機器を接続する場合は、ファントム電源がオフになっていることを確認してください。ファントム電源が供給されている状態でライン機器を接続すると、ライン機器および本機の故障の原因になります。
- ファントム電源をオンにした状態で、MIC/LINE INPUT (BALANCED) 1 / 2端子にマイクの抜き差しをしないでください。大きなノイズを発生し、機器が故障する恐れがあります。
- ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクを使用する場合のみ、ファントム電源をオンにしてください。ファントム電源を必要としないダイナミックマイクなどを接続しているときにファントム電源をオンにすると、本機および接続中の機器が故障する恐れがあります。
- ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクとダイナミックマイクを合わせて使用する場合は、必ずバランスタイプのダイナミックマイクをご使用ください。アンバランスタイプのダイナミックマイクを混用することはできません。
- リボンマイクの中には、ファントム電源を供給すると故障の原因になるものがあります。疑わしい場合は、リボンマイクにファントム電源を供給しないでください。
- コンデンサーマイクによっては、48Vに設定されたファントム電源では動作しないものもあります。

レベルコントロール機能を使う

入力レベルコントロール機能を設定します。

1. 入力 1-2 画面の **レベル制御** 項目を選択します。(→ 19 ページ「入力 1-2画面/入力 3-4画面を開く」)



2. 使用するレベルコントロール機能を設定します。

選択肢	内容
オフ (初期値)	レベルコントロール機能をオフにします。
リミッター	突発的な過大入力による歪みを防ぐことができます。
自動レベル	入力音が小さいときは大きく、大きいときは小さくなるように入力レベルを自動で調節します。

3. 設定が終了したら、STOP/HOME [■] ボタンを押してホーム画面に戻ります。
設定したレベルコントロール機能のアイコンが、ホーム画面に表示されます。

注意

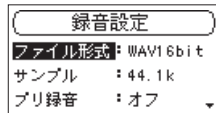
入力音が大きすぎるとリミッターをオンにしても歪んでしまう場合があります。そのときは、手動で入力レベルを下げてください。

メモ

レベルコントロール機能でオートレベルに設定されている場合には、入力レベルの調節はできません。(→ 20ページ「入力レベルを調節する」)

ファイルフォーマット／サンプリング周波数を設定する

録音を実行する前に **録音設定** 画面の **ファイル形式** 項目と **サンプル** 項目を使って録音オーディオのファイル形式を設定します。
(→ 19ページ「録音設定画面を開く」)



ファイルフォーマットの設定

ファイル形式 項目を選択し、ファイルフォーマットを設定します。

- 選択肢: BWF16bit、BWF24bit、WAV16bit (初期値)、WAV24bit、MP3 32k (bps)、MP3 64k (bps)、MP3 96k (bps)、MP3 128k (bps)、MP3 192k (bps)、MP3 256k (bps)、MP3 320k (bps)

メモ

- BWFは放送局用のフォーマットで、音質はWAVと同等です。ファイルの拡張子は「.wav」で、WAVファイルの拡張子と同じです。本誌では、BWFに対応したWAVファイルを「BWF」、BWFに対応していないWAVを「WAV」と表記します。
- WAV / BWFの方がMP3よりも高音質で録音ができます。
- MP3の方がWAV / BWFよりも長時間録音ができます。
- MP3の場合は、値が大きいほど高音質で録音ができます。

サンプリング周波数の設定

サンプル 項目を選択し、サンプリング周波数を設定します。

- 選択肢: 44.1k (Hz、初期値)、48k (Hz)、96k (Hz)

メモ

ファイル形式がMP3のときは、96k は選択できません。

録音する(MONO / STEREO / 4ch録音)

録音を開始する

1. **RECORD [●]** ボタンを押して、録音待機状態にします。



[2ch録音時]



[4ch録音時]

録音画面の上側には、録音オーディオファイル形式およびサンプリング周波数、左側に入カソース、下側には録音ファイル名が表示されますので、録音を開始する前に確認することができます。

2. **PLAY [▶]** ボタンまたは**RECORD [●]** ボタンを押すと、通常の録音が始まります。
録音が始まると**RECORD**インジケーターが点灯し、ディスプレイには、録音経過時間および録音残時間が表示されます。
3. 録音を終了するには、**STOP/HOME [■]** ボタンを押します。録音を一時停止するには、**PLAY [▶]** ボタンまたは**RECORD [●]** ボタンを押します。
再度**PLAY [▶]** ボタンまたは**RECORD [●]** ボタンを押すと、同じファイルに続きが録音されます。
一時停止後に**STOP/HOME [■]** ボタンを押すと、一時停止までを録音したオーディオファイルが作成されます。

MONO / STEREO録音時の場合のファイル名

TASCAM_0001.WAV

① ②

- ①: **ファイル名設定** 画面の **ワード** 項目の設定による
- ②: 録音ファイルのプロジェクト番号

4チャンネル録音時の場合のファイル名

4チャンネル録音では、2つのファイルが同時にできます。1-2チャンネルのファイルと3-4チャンネルのファイルがセットで作成されます。

TASCAM_0002_12.WAV

① ② ③

TASCAM_0002_34.WAV

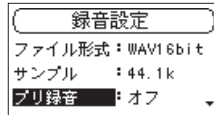
① ② ③

- ①: **ファイル名設定** 画面の **ワード** 項目の設定による
- ②: 録音ファイルのプロジェクト番号
- ③: ソースアサインチャンネル
(12 → 1-2チャンネル、34 → 3-4チャンネル)

録音開始の少し前から録音する（プリ録音）

録音待機中に入力される信号を最大2秒間録音しておき、録音開始時に最大2秒前からの信号を録音することができます（プリレック機能）。

1. **録音設定** 画面の **プリ録音** 項目を選択します。（→ 19ページ「録音設定画面を開く」）



2. プリレック機能のオン/オフを設定します。
選択肢：オフ（初期値）、オン
3. 設定が終了したら、**STOP/HOME** [■] ボタンを押してホーム画面に戻ります。

ヒント

オートレック機能と組み合わせることにより、出音の部分を欠かすことなく録音できます。

メモ

録音待機状態になってから2秒以内に録音を開始した場合は、録音待機状態にした時点からの録音となります。

録音中にファイルを切り換えて録音を続ける（ファイルスプリット）

録音中に手で、または設定した時間になったときに自動的に現在のファイルへの録音を停止し、新しいファイルに録音を継続することができます（ファイルスプリット機能）。

メモ

- 新しいファイルが作成されると、ファイル名の末尾の数字が繰り上がります。
- 新たに作成するファイルのファイル名がすでに存在する場合は、さらに数字が繰り上がります。
- 録音中にファイルサイズが2GBに達すると、自動的に現在のファイルへの録音を停止し、新しいファイルに録音を継続します。

録音中に手でファイルスプリットする

録音中に▶▶ ボタンを押すと、いつでも簡単に手でファイルを更新し、録音を継続することができます。

注意

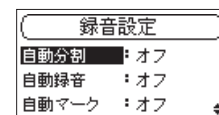
- フォルダーとファイルの総数が5000個を超える場合は、新たなファイルは作成できません。
- 録音時間が2秒以内のファイルを作成することはできません。また、サンプリング周波数が96kHzの場合は4秒以内のファイルを作成することはできません。

設定した時間で自動的にファイルスプリットする

録音中に、**録音設定** 画面の **自動分割** 項目で設定した時間に達すると、自動的に現在のファイルへの録音を停止し、新しいファイルに録音を継続します。

以下の手順で自動的にファイルスプリットする最大時間の設定を行います。

1. **録音設定** 画面の **自動分割** 項目を選択します。（→ 19ページ「録音設定画面を開く」）



2. 自動でファイルスプリットする時間を設定します。
選択肢：オフ（初期値）、5分、10分、15分、30分、60分
3. 設定が終了したら、**STOP/HOME** [■] ボタンを押してホーム画面に戻ります。

注意

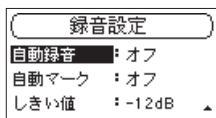
フォルダーとファイルの総数が5000個を超える場合は、新たなファイルは作成できません。

録音を自動で開始する（自動録音）

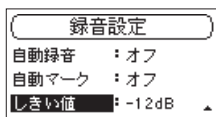
オートレック機能をオンにすると、入力音のレベルに応じて録音の開始や一時停止とファイルの更新を行います。

オートレック機能を設定する

1. 録音設定 画面の **自動録音** 項目を選択します。（→ 19ページ「録音設定画面を開く」）



2. オートレック機能のオン/オフを設定します。
選択肢：オフ（初期値）、オン
3. 録音設定 画面の **しきい値** 項目を選択し、オートレック機能の働くスタートレベル（信号が入力されたと判断する基準レベル）を設定します。



選択肢：-6dB、-12dB（初期値）、-24dB、-48dB

4. 設定が終了したら、**STOP/HOME** [■] ボタンを押してホーム画面に戻ります。

オートレック機能を使って録音する

RECORD [●] ボタンを押し、録音待機状態にします。

- 入力音が **録音設定** 画面の **しきい値** 項目で設定した基準レベルを上回ると自動で録音を開始します。
- 入力音が **しきい値** 項目で設定した基準レベルを5秒以上にわたって下回ると録音待機状態になり、その後入力音が基準レベルを上回ると同じファイルに録音を再開します。

録音を停止させる場合は、**STOP/HOME** [■] ボタンを押してください。

ヒント

プリレック機能と組み合わせることにより、音の出だし部分を欠かすことなく録音できます。

マーク機能を使う

録音中に手でマークを付ける

録音中または録音待機中に**MULTI JOG**ダイヤルを押すと、その位置にマークを付けることができます。

登録したマーク番号がディスプレイの下部にプルアップ表示されます。



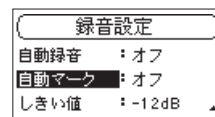
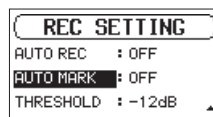
メモ

- マークは、ファイルごとに最大99個付けることができ、ファイルにマークの情報を記録します。
- 本機で録音したBWF形式で録音されたWAVファイルは、録音中に付けたマークの情報がファイルへ保存されます。BWF対応ソフトなどで、このマーク情報を使用することができます。

録音中に自動でマークを付ける

オートマーク機能により、入力音が **しきい値** 項目で設定した基準レベルを5秒以上にわたって下回ったあとに、入力音が基準レベルを上回ると、その位置に自動でマークを付けます。

1. 録音設定 画面の **自動マーク** 項目を選択します。（→ 19ページ「録音設定画面を開く」）



2. 録音中に自動でマークを付けるか設定します。
選択肢：オフ（初期値）、オン
3. 設定が終了したら、**STOP/HOME** [■] ボタンを押してホーム画面に戻ります。

マークの位置への移動

停止中または再生中に◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押すと、選択されているファイルに挿入されているマークの位置へ移動することができます。

頭出しのためのインデックスのように使用することができます。

メモ

- 異なるファイルのマークへの移動はできません。
- 録音中に書き込みエラーになった位置にBOFマークがつけます。このマークは、**BOF [01]** のように表示されます。

異なる入力レベルで同時に2系統の録音をする (DUAL REC)

本機では、通常の録音とは別に、異なる入力レベルでもう1つの録音を同時に行うことができます。たとえば、マイク録音を行う際に、片方はできるだけ入力レベルを上げた状態で通常の録音をし、安全のために入力レベルを低め（-12dB）に設定したもう1つの録音を同時にするということができます。

録音ファイルは、通常の入力レベルで録音したファイルとその入力レベルを用途や環境に合わせて、以下のように調節したファイルの2つで保存されます。

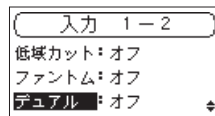
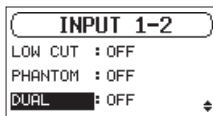
- 通常録音の入力レベルから-12dB下げたファイル
- 突発的な過大入力レベルによる歪みを防いだファイル
- 小さな入力レベルを大きく、大きな入力レベルを小さくなるように自動で調節したファイル

メモ

通常の録音における入力レベル設定は、従来の方で行ってください。（→ 20ページ「入力レベルを調節する」）

デュアル録音の設定をする

1. 入力 1-2 画面の **デュアル** 項目を選択します。（→ 19ページ「入力 1-2画面/入力 3-4画面を開く」）



2. デュアル録音するモードを設定します。

選択肢	内容
オフ (初期値)	デュアル録音機能をオフにする。
-12dB	入力レベルから-12dB下げたレベルで録音します。
リミッター	突発的な過大入力による歪みを防ぎながら録音します。
自動レベル	入力音が小さいときは大きく、大きいときは小さくなるように入力レベルを自動で調節しながら録音します。

3. 設定が終了したら、**STOP/HOME** [■] ボタンを押してホーム画面に戻ります。

デュアル録音を開始する

RECORD [●] ボタンを押すと、デュアル録音が始まります。デュアル録音時は、以下のような録音画面表示になります。



[デュアル録音モード -12dB 選択時]

録音画面の入力ソース表示部に現在の入力ソースと、デュアル録音するもう1つのファイルの入力レベルを表示します。

デュアル録音時のファイル名

デュアル録音を行うと、2つのファイルが同時に作成されます。デュアル録音されたもう1つのファイルのファイル名は、通常録音されたファイルのファイル名に「_D」が追加された名前になります。

TASCAM_0002_12.WAV

① ② ③

TASCAM_0002_12_D.WAV

① ② ③ ④

- ① : **ファイル名設定** 画面の **ワード** 項目の設定による
- ② : 録音ファイルのプロジェクト番号
- ③ : ソースアサインチャンネル
(12 → 1-2チャンネル、34 → 3-4チャンネル)
- ④ : **入力 1-2** 画面の **デュアル** 項目の設定による
0 → デュアル録音

録音時間について

各ファイルフォーマットにおける、SD / SDHC / SDXCカード容量別の録音時間を以下の表に示します。

ファイルフォーマット (録音時の設定)		SD / SDHC / SDXCカード容量				
		1GB	4GB	8GB	32GB	
WAV / BWF 16ビット (STEREO)	44.1kHz	1時間34分	6時間17分	12時間35分	50時間23分	
	48kHz	1時間26分	5時間47分	11時間34分	46時間17分	
	96kHz	43分	2時間53分	5時間47分	23時間08分	
WAV / BWF 24ビット (STEREO)	44.1kHz	1時間02分	4時間11分	8時間23分	33時間35分	
	48kHz	57分	3時間51分	7時間42分	30時間51分	
	96kHz	28分	1時間55分	3時間51分	15時間25分	
MP3 (STEREO / MONO)	32kbps	44.1kHz / 48kHz	69時間26分	277時間	555時間	2222時間
	64kbps	44.1kHz / 48kHz	34時間43分	138時間	277時間	1111時間
	96kbps	44.1kHz / 48kHz	23時間08分	92時間35分	185時間	740時間
	128kbps	44.1kHz / 48kHz	17時間21分	69時間26分	138時間	555時間
	192kbps	44.1kHz / 48kHz	11時間34分	46時間17分	92時間35分	370時間
	256kbps	44.1kHz / 48kHz	8時間40分	34時間43分	69時間26分	277時間
	320kbps	44.1kHz / 48kHz	6時間56分	27時間46分	55時間33分	222時間

- 上記録音時間は目安です。ご使用のSD / SDHC / SDXCカードにより異なる場合があります。
- 上記録音時間は連続録音時間ではなく、SD / SDHC / SDXCカードに可能な録音合計時間です。
- 録音時間が24時間を超える場合は、自動的に新しいファイルを作成し、録音を継続します。
- WAV形式のMONO録音の場合は、上記録音時間の約2倍の時間となります。
- WAV / BWF形式のデュアル録音 / 4チャンネル録音の場合は、上記録音時間の約半分の時間となります。

第5章 フォルダーやファイルの操作（ファイル / フォルダ画面）

本機は、SDカード上のオーディオファイルをフォルダー構造で管理することができます。

ファイル / フォルダ 画面から操作対象のフォルダーまたはファイルを選択し、フォルダーまたはファイルのメニューをポップアップ表示することができます。

メニューからファイルの再生や削除、ファイルのプレイリスト登録などを行うことができます。（→ 29ページ「プレイリスト」）

メモ

- パソコンでSDカードの内容を読み込むことにより、フォルダー構成の変更、フォルダー名 / ファイル名の編集、フォルダー / ファイルの削除などをパソコンから行うことができます。
- パソコンで編集を行った場合は、本機でのファイル再生順が編集以前と変わる場合があります。

ファイル / フォルダ画面を開く

ファイル / フォルダ 画面を表示するには、**BROWSE**ボタンを押します。



この画面には、ファイル / フォルダ 画面を表示する前に、ホーム画面で選択されていたファイルを含むフォルダーの内容が表示されます。

ファイル / フォルダ画面内のナビゲーション

ファイル / フォルダ 画面には、パソコンにおけるファイルのリスト表示のように、フォルダーや音声ファイルがリスト表示されます。フォルダーは、第2階層まで作成できます。

ファイル / フォルダ 画面が表示されているとき、**MULTI JOG**ダイヤルおよび◀◀ / ▶▶を使って、操作対象のフォルダーやファイルを選択します。

- **MULTI JOG**ダイヤルを回して、ファイルやフォルダーを選択します。
- フォルダーを選択中に▶▶ボタンを押すと、フォルダーの内容が表示されます。
- ファイルやフォルダーを選択中に◀◀ボタンを押すと、現在開いているフォルダーが閉じて、上位の階層レベルが表示されます。
- フォルダーやファイルを選択中に**MULTI JOG**ダイヤルを押すと、ポップアップメニューが表示されます。

BROWSE画面内のアイコン表示

以下にファイル / フォルダ 画面内のアイコン表示内容を説明します。

SOUNDフォルダー (SOUND)

ルート (ROOT) 階層表示中のファイル / フォルダ 画面では、最上段にSOUNDフォルダーが表示されます。

オーディオファイル (🎵)

音声ファイルは、🎵アイコンのあとにファイル名が表示されます。

フォルダー (📁)

内部にフォルダーが存在するフォルダーです。

フォルダー (📁)

内部にフォルダーが存在しないフォルダーです。

表示中のフォルダー (📁)

現在、このフォルダーの内容を画面表示しています。

フォルダー操作

ファイル / フォルダ 画面内の希望のフォルダーを選択し、**MULTI JOG**ダイヤルを押してフォルダーメニューをポップアップ表示します。



MULTI JOGダイヤルを回して希望の項目を選択し、**MULTI JOG**ダイヤルを押すと、以下の動作を行います。

メモ

プロテクトされているSDカードがセットされているとき、**フォルダ内消去** 項目の操作はできません。（→ 18ページ「SDカードのライトプロテクトスイッチについて」）

キャンセル

選択中のフォルダーに関する操作を取り消し、フォルダーメニューを閉じます。

再生

ホーム画面に戻り、選択したフォルダー内の最初のファイルが再生されます。

直前の再生対象設定にかかわらず、再生対象設定が **フォルダ** になり、このフォルダーが再生対象になります。

選択

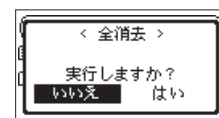
ホーム画面に戻り、選択したフォルダー内の最初のファイルが選択され、先頭で停止します。

直前の再生対象設定にかかわらず、再生対象設定が **フォルダ** になり、このフォルダーが再生対象になります。また、この操作で選択されたフォルダーに、録音したファイルが保存されます。

フォルダ内消去

選択したフォルダー内のファイルを一括削除する確認のポップアップメッセージが表示されます。

ファイルを削除する場合は**MULTI JOG**ダイヤルを回して「はい」を選択し、**MULTI JOG**ダイヤルを押してファイルを削除します。ファイルを削除しない場合は「いいえ」を選択し、**MULTI JOG**ダイヤルを押して **ファイル / フォルダ** 画面に戻ります。



メモ

書き込み禁止ファイルや本機で認識されていないファイルは、削除されません。

第5章 フォルダーやファイルの操作（ファイル / フォルダ画面）

ファイル操作

ファイル / フォルダ 画面内の希望のオーディオファイルを選択し、MULTI JOGダイヤルを押してファイルメニューをポップアップ表示します。



MULTI JOGダイヤルを回して希望の項目を選択し、MULTI JOGダイヤルを押すと、本機が以下の動作を行います。

メモ

プロテクトされているSDカードがセットされているとき、リスト登録 項目、消去 項目の操作はできません。(→ 18ページ「SDカードのライトプロテクトスイッチについて」)

キャンセル

選択中のファイルに関する操作を取り消し、ファイルメニューを閉じます。

再生

ホーム画面に戻り、選択したファイルの再生を開始します。このファイルを含むフォルダがカレントフォルダ（現在選択されているフォルダ）になり、録音したファイルはここに記録されるようになります。また、再生対象設定が **フォルダ** の場合は、このフォルダが再生対象になります。

情報

選択したファイルの情報（日付、サイズ）が表示されます。再度MULTI JOGダイヤルを押すかSTOP/HOME [■] ボタンを押すと、ファイル / フォルダ 画面に戻ります。



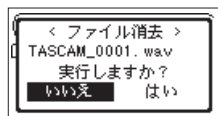
リスト登録

プレイリストに選択したファイルを登録します。(→ 29ページ「プレイリスト」)

消去

選択したファイルを削除する確認のポップアップメッセージが表示されます。

ファイルを削除する場合はMULTI JOGダイヤルを回して「はい」を選択し、MULTI JOGダイヤルを押してファイルを削除します。ファイルを削除しない場合は「いいえ」を選択し、MULTI JOGダイヤルを押してファイル / フォルダ 画面に戻ります。

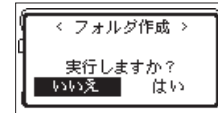


新しいフォルダーを作成する

1. 各フォルダの一番下の **フォルダ作成** を選択します。



2. MULTI JOGダイヤルを押します。
新たなフォルダを作成する確認のポップアップメッセージが表示されます。



3. 新しいフォルダを作成する場合はMULTI JOGダイヤルを回して「はい」を選択し、MULTI JOGダイヤルを押して新しいフォルダを作成します。
新しいフォルダを作成しない場合は「いいえ」を選択し、MULTI JOGダイヤルを押してファイル / フォルダ 画面に戻ります。

メモ

本機では3階層以上のフォルダを扱うことはできないため、第2階層のフォルダには **フォルダ作成** はありません。新規に作成されたフォルダがカレントフォルダ（現在選択されているフォルダ）になり、録音したファイルはここに記録されるようになります。また、再生対象設定が **フォルダ** の場合は、このフォルダが再生対象になります。

プレイリスト

再生するファイルのリスト（プレイリスト）を作成することができます。

再生設定 画面の **再生対象** 項目で **再生リスト** に設定すると、プレイリスト上のファイルを再生することができます。

プレイリストに登録する

1. **ファイル / フォルダ** 画面を表示します。（→ 27ページ「ファイル / フォルダ画面を開く」）
2. プレイリストに登録したいファイルを選択し、**MULTI JOG**ダイヤルを押してファイルメニューをポップアップ表示します。
3. **リスト登録** 項目を選択し、**MULTI JOG**ダイヤルを押します。



選択したファイルがプレイリストに登録されます。

4. 必要に応じて手順2.～3.を繰り返します。
リスト上では、登録順に番号が付けられます。

プレイリストを編集する

再生リスト 画面には、作成したプレイリストが表示されます。また、この画面を使って、ファイルの再生やプレイリストの編集を行うことができます。

1. **ファイル / フォルダ** 画面を表示します。（→ 27ページ「ファイル / フォルダ画面を開く」）
2. ◀◀ ボタンを使って、一番上の階層まで階層を移動します。




3. **再生リスト** を選択し、▶▶ ボタンを押します。
再生リスト 画面を表示します。



4. 編集したいファイルを選択し、**MULTI JOG**ダイヤルを押します。
プレイリストメニューがポップアップ表示されます。



5. 希望の項目を選択し、**MULTI JOG**ダイヤルを押します。
本機が以下の動作を行います。

選択肢	内容
キャンセル	選択中のファイルに関する操作を中止します。
再生	ホーム画面に戻り、選択したファイルの再生を開始します。
全リスト消去	プレイリスト上の全てのファイルを削除する確認のポップアップメッセージが表示されず。 削除する場合は MULTI JOG ダイヤルを回して「はい」を選択し、 MULTI JOG ダイヤルを押してファイルを削除します。 ファイルを削除しない場合は「いいえ」を選択し、 MULTI JOG ダイヤルを押して ファイル / フォルダ 画面に戻ります。 この操作の場合は、手順5.でどのファイルを選択してもかまいません。全ファイルがプレイリストから削除されますが、SDカードからは削除されません。
登録解除	ファイルをプレイリストから削除します。 プレイリストから削除されますが、SDカードからは削除されません。
移動	選択しているファイルの順番を変更します。 ファイル名だけでなく、番号の数字も反転表示になります。 <ul style="list-style-type: none"> ● MULTI JOGダイヤル回して、プレイリスト内で選択ファイルの順番を移動します。  <p>上図は、4番目のファイルを3番目に移動した例です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● MULTI JOGダイヤルを押します。移動が完了し、通常の 再生リスト 画面に戻ります。

第6章 再生

本機で取り扱うことができる音声ファイル形式は、以下の通りです。

BWF : 44.1k/48k/96kHz、16/24ビット

WAV : 44.1k/48k/96kHz、16/24ビット

MP3 : 44.1k/48kHz、32k ~ 320kbps

ホーム画面上では、**MULTI JOG**ダイヤルを回して再生するファイルを選びます。このときに選択可能なファイルの範囲を「再生対象」として設定することができます。SDカード上に数多くのファイルが記録されている場合など、選択範囲を限定することにより選択が容易になります。

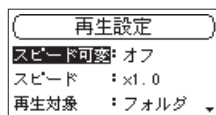
再生設定 画面で、「全ファイル」、「現在のフォルダ」、「プレイリスト」の中から再生対象を選択することができます。また、**ファイル / フォルダ** 画面を使って、希望のフォルダを再生対象に設定することができます。

メモ

ファイル / フォルダ 画面では、再生対象設定にかかわらず、カード上の希望のファイルを選択することができます。

再生設定画面を開く

再生設定 画面を表示するには、**PLAY SETTINGS**ボタンを押します。



再生設定 画面を表示中に**PLAY SETTINGS**ボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

再生対象

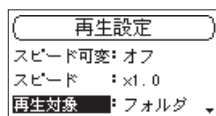
ホーム画面上で選択できる再生するファイルの範囲を「再生対象」と呼びます。

SDカード上に多数のファイルが記録されている場合など、選択範囲を限定することにより再生するファイル選択が容易になります。

再生対象を設定する

再生設定 画面の **再生対象** 項目にて、再生対象を設定します。

1. **再生設定** 画面の **再生対象** 項目を選択します。(→ 30ページ「再生設定画面を開く」)



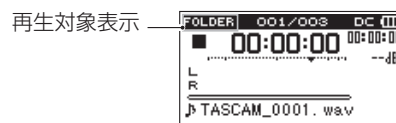
2. 希望の再生対象を設定します。

選択肢	内容
全ファイル	SDカード上のSOUNDフォルダ内の全ファイルを再生します。
フォルダ (初期値)	現在選択中のファイルが含まれているフォルダ内のファイルを再生します。
再生リスト	プレイリストに登録されているファイルを再生します。(→ 29ページ「プレイリスト」) プレイリストが存在しない場合は、ポップアップメッセージ プレイリストがありません を表示します。

3. 設定が終了したら、**STOP/HOME** [■] ボタンを押してホーム画面に戻ります。

メモ

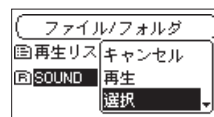
現在の再生対象設定が、ホーム画面左上部に表示されます。



ファイル/フォルダ画面を使って再生対象のフォルダを選択する (1)

現在の再生対象にかかわらず、**ファイル / フォルダ** 画面でフォルダを選択すると、選択したフォルダが再生対象になります。

1. **ファイル / フォルダ** 画面を表示し、再生対象に設定するフォルダを選択します。(→ 27ページ「ファイル / フォルダ画面を開く」)、(→ 27ページ「ファイル / フォルダ画面内のナビゲーション」)
2. **MULTI JOG**ダイヤルを押して、フォルダメニューをポップアップ表示します。
3. **選択** 項目を選択し、**MULTI JOG**ダイヤルを押します。



ホーム画面に戻り、フォルダ内の最初のファイルが選択され、停止状態になります。

以前の再生対象設定にかかわらず、再生対象設定が **フォルダ** になり、このフォルダが再生対象になります。また、このフォルダがカレントフォルダ（現在選択されているフォルダ）になり、録音したファイルもここに保存されるようになります。

ファイル/フォルダ画面を使って再生対象のフォルダを選択する (2)

再生対象が **フォルダ** のとき、**ファイル / フォルダ** 画面でファイルを選択すると、選択したファイルを含むフォルダが再生対象になります。

1. **ファイル / フォルダ** 画面を表示し、再生したいファイルを選択します。(→ 27ページ「ファイル / フォルダ画面を開く」)、(→ 27ページ「ファイル / フォルダ画面内のナビゲーション」)
2. **MULTI JOG**ダイヤルを押して、フォルダメニューをポップアップ表示します。
3. **再生** 項目を選択し、**MULTI JOG**ダイヤルを押します。
ホーム画面に戻り、選択したファイルが再生されます。また、このフォルダがカレントフォルダ（現在選択されているフォルダ）になり、録音したファイルもここに保存されるようになります。
再生対象が **フォルダ** に設定されていた場合は、選択したファイルを含むフォルダが再生対象になります。

再生する

ホーム画面で停止中に**PLAY** [▶] ボタンを押すと、再生を始めます。

メモ

- 再生できるファイルは、再生対象内のファイルです。
- ファイル / フォルダ 画面でファイル名を選択して再生させることもできます。

一時停止する

ホーム画面で再生中に**STOP/HOME** [■] ボタンを押すと、その位置で再生を停止します。(一時停止)
再度**PLAY** [▶] ボタンを押すと、その位置から再生を始めます。

停止する

ホーム画面で再生中に**STOP/HOME** [■] ボタンを押して一時停止状態にし、再度**STOP/HOME** [■] ボタンを押すとファイルの先頭に戻ります。(停止)

早戻し／早送りをする（サーチ）

ホーム画面で停止中または再生中に◀◀ボタン／▶▶ボタンを押し続けると、早戻し／早送りサーチ再生を行います。

メモ

◀◀ボタン／▶▶ボタンを押し続けると、サーチスピードが加速してゆきます。

再生するファイルを選択する（スキップ）

ホーム画面で、**MULTI JOG**ダイヤルを回して、再生したいファイルを選択します。
ファイルの再生途中で**MULTI JOG**ダイヤルを反時計周りに回すとファイルの先頭へ戻り、ファイルの先頭で**MULTI JOG**ダイヤルを反時計周りに回すと1つ前のファイルの先頭にスキップします。
ファイルの先頭または途中で**MULTI JOG**ダイヤルを時計周りに回すと、次のファイルへスキップします。

メモ

- 再生できるファイルは、再生対象内のファイルです。
- 再生中のファイル情報（曲名など）やファイル番号がディスプレイに表示されます。
- ファイルの先頭で停止しているときは、ディスプレイに動作アイコン ■ 表示します。ファイルの途中で停止しているときは、動作アイコン ■■ を表示します。
- ファイルを移動したい場合には、**MULTI JOG**ダイヤルを必要だけ回してください。

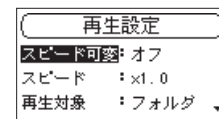
再生スピードを変える(Variable Speed機能)

本機では、Variable Speed機能が搭載されており、再生音の音程を保ったまま再生スピードを変えることができます。

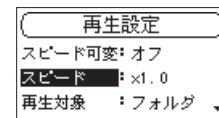
注意

サンプリング周波数96kHzで録音されたファイルを選択しているときは、Variable Speed機能は使用できません。ただし、このときにも **SPD** アイコンが表示され、再生スピードの変更は行うことができます。
このファイルでは有効になりませんが、44.1k/48kHzのファイルをロードしたときに再生スピードの設定が有効になります。

- 再生設定 画面の **スピード可変** 項目を選択します。(→ 30ページ「再生設定画面を開く」)



- Variable Speed機能をオンに設定します。
選択肢：オフ（初期値）、オン
- 再生設定 画面の **スピード** 項目を選択します。

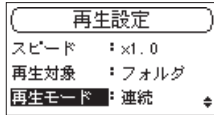


- 再生スピードの値を変更します。
選択肢：0.5倍 ~ 1.5倍（初期値：1.0倍、0.1倍 刻み）
- 設定が終了したら、**PLAY SETTINGS**ボタンを押してホーム画面に戻ります。

再生モードを設定する

再生するモードを設定します。

1. **再生設定** 画面の **再生モード** 項目を選択します。(→ 30ページ「再生設定画面を開く」)



2. 再生モードを設定します。

選択肢	内容
連続 (初期値)	通常の再生 (再生対象内の連続再生) を行うモードです。
シングル	1ファイルだけ再生するモードです。 リピートは、行いません。 ホーム画面に アイコンが表示されます。

3. 設定が終了したら、**STOP/HOME** [■] ボタンを押してホーム画面に戻り、再生を開始します。

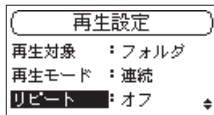
メモ

再生設定 画面の **リピート** 項目の設定と組み合わせることで、1つのファイルを繰り返して再生する、または設定した範囲内の複数のファイルを繰り返して再生することができます。

繰り返し再生する (リピート再生)

リピート再生機能を設定します。

1. **再生設定** 画面の **再生モード** 項目を選択します。(→ 30ページ「再生設定画面を開く」)



2. リピート機能のオン/オフを設定します。

選択肢: オフ (初期値)、オン

3. 設定が終了したら、**STOP/HOME** [■] ボタンを押してホーム画面に戻り、再生を開始します。

メモ

再生設定 画面の **再生モード** 項目の設定と組み合わせることで、1つのファイルを繰り返して再生する、または設定した範囲内の複数のファイルを繰り返して再生することができます。

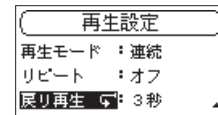
再生中に数秒前に戻り再生し直す (ジャンプバック再生)

再生中に**PLAY** [▶] ボタンを押すと、数秒前 (設定可能) に戻って再生します。(ジャンプバック再生機能)

再生中に聴き直したいフレーズ、歌詞などがあったときに**PLAY** [▶] ボタンを押すことで、少し前から聴き直すことができます。

戻る時間は、**戻り再生** 項目で指定できます。

1. **再生設定** 画面の **戻り再生** 項目を選択します。(→ 30ページ「再生設定画面を開く」)



2. ジャンプバック再生機能で戻る時間を設定します。

選択肢: オフ、1秒 ~ 10秒、20秒、30秒 (初期値: 3秒)

3. 設定が終了したら、**PLAY SETTINGS** ボタンを押してホーム画面に戻ります。

選択ファイルを手動で分割する (ファイル分割)

録音したファイルを任意の位置で、2つのファイルに分割することができます。

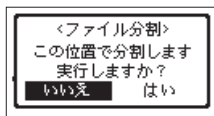
注意

- MP3ファイルは、分割できません。
- SDカードの残容量が少ない場合は、分割できないことがあります。
- ファイル名が200文字以上になる場合は、分割できません。
- 分割後のファイル名と同名のファイルが存在する場合は、分割できません。
- 分割を行うと、元のファイルは残りません。

1. MULTI JOGダイヤルを回す、もしくは **ファイル / フォルダ** 画面で、分割したいファイルを選択します。
2. ホーム画面で停止中に**MENU**ボタンを押して、**メニュー** 画面を表示します。
3. **ファイル分割** 項目を選択し、MULTI JOGダイヤルを押します。**ファイル分割** 画面が表示されます。



4. 分割する位置 (分割ポイント) を、以下の操作で選びます。
 - PLAY [▶] ボタン : 再生
 - STOP/HOME [■] ボタン : 停止
 - ◀◀ / ▶▶ ボタン : マークの位置への移動
 - MULTI JOGダイヤルを回す : 分割する位置の微調節
5. 分割する位置の確定後、MULTI JOGダイヤルを押します。以下のポップアップメッセージが表示されます。



6. MULTI JOGダイヤル回して「はい」を選択し、MULTI JOGダイヤルを押すと、ファイルが分割されます。「いいえ」を選択してMULTI JOGダイヤルを押すと、分割されずに **ファイル分割** 画面に戻ります。

メモ

分割すると、ファイル名の末尾に **a** または **b** が付加されたファイルが作成されます。

(4チャンネルモードの録音ファイル例)

分割前のファイル名

TASCAM_0003_12.wav

TASCAM_0003_34.wav

分割後のファイル名

TASCAM_0003_12a.wav (分割点より前の部分)

TASCAM_0003_34a.wav (分割点より前の部分)

TASCAM_0003_12b.wav (分割点より後の部分)

TASCAM_0003_34b.wav (分割点より後の部分)

ヒント

録音中にあらかじめ分割したい位置にマークを付けておくことができます。(→ 24ページ「マーク機能を使う」)

ファイル名の形式を設定する

本機で録音するファイル名の形式を設定することができます。

1. **メニュー** 画面の **ファイル名設定** 項目を選択し、MULTI JOGダイヤルを押します。(→ 14ページ「メニュー操作の手順」)

ファイル名設定 画面が表示されます。



2. **タイプ** 項目を選択し、ファイル名の形式を設定します。

選択肢	内容
ワード (初期値)	ワード で設定した6文字をファイル名に付けます。 (例) TASCAM_0001_12.wav
日時	日付をファイル名に付けます。 (例) 110101_0001.wav

メモ

日付は、本体内の時計を基に設定されます。(→ 17ページ「日時を設定する」)

文字 (WORD) の設定

ワード 項目で、MULTI JOGダイヤルを押してカーソルを移動し、MULTI JOGダイヤルを回して文字を設定します。

文字は、英数のほかに、記号「! # \$ % & ' () + , . - : ; = @ [\] ^ _ ` { | }」が使用可能です。

数字 (COUNT) の初期化設定

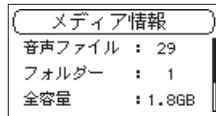
数字初期化 項目で、MULTI JOGダイヤルを押して実行すると、この以降のファイル作成時より、ワード 項目で設定した文字に続く数字部分が、0001 から始まります。

メディア情報を見る

メディア情報 画面で、本機に挿入されたSDカードの情報を見ることができます。

以下の手順で **メディア情報** 画面を表示します。

1. **メニュー** 画面の **メディア情報** 項目を選択し、**MULTI JOG**ダイヤルを押します。(→ 14ページ「メニュー操作の手順」)
メディア情報 画面が表示されます。



MULTI JOGダイヤルを回すことで、以下の情報が確認できます。

再生可能数

SOUNDフォルダー内にある再生可能なファイル数を表示します。

フォルダー

SOUNDフォルダー内にあるフォルダー数を表示します。

全容量

SDカードの総メモリー容量を表示します。

使用可／使用済

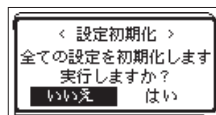
SDカードの残容量を表示します。

2. 確認が終了したら、**STOP/HOME** [■] ボタンを押してホーム画面に戻ります。

出荷時の設定に戻す

本機のバックアップメモリーに保存されている各設定情報を工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. **メニュー** 画面の **設定初期化** 項目を選択し、**MULTI JOG**ダイヤルを押します。
確認のポップアップメッセージが表示されます。



2. **MULTI JOG**ダイヤルを回して「はい」を選択し、**MULTI JOG**ダイヤルを押すことで、イニシャライズを実行します。
イニシャライズしない場合は「いいえ」を選択し、**MULTI JOG**ダイヤルを押します。

SDカードをフォーマットする

SDカードをフォーマットします。

フォーマットを行うと、カード上の全ての音声ファイルが消去され、**《SOUND》** フォルダ、**《UTILITY》** フォルダおよび **《dr-1.sys》** が自動生成されます。

注意

フォーマットの実行は、付属の専用ACアダプター (TASCAM PS-P1220E) を使用するか、電池の残量が十分な状態で行ってください。フォーマット中に電池切れになると、正常なフォーマットができない場合があります。

1. **メニュー** 画面の **SD初期化** 項目を選択し、**MULTI JOG**ダイヤルを押します。(→ 14ページ「メニュー操作の手順」)
フォーマット方法の選択肢をポップアップ表示されます。

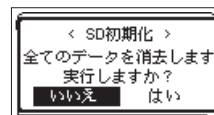


2. フォーマット方法を設定します。

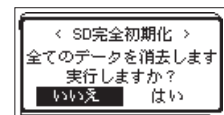
選択肢	内容
初期化	クイックフォーマットを実行します。
完全初期化	イレースフォーマットを実行します。

メモ

- イレースフォーマットを実行すると、繰り返し使用で書き込み性能が劣化したSDカードを復活させる可能性があります。
 - イレースフォーマットは、メモリーのエラーをチェックしながらフォーマットを実行するため、クイックフォーマットと比べて多くの時間がかかります。
3. **MULTI JOG**ダイヤルを押すと、確認のポップアップメッセージが表示されます。



[初期化 選択時]



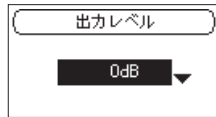
[完全初期化 選択時]

4. フォーマットを実行する場合は**MULTI JOG**ダイヤルを回して「はい」を選択し、**MULTI JOG**ダイヤルを押してフォーマットを実行します。
フォーマットしない場合は「いいえ」を選択し、**MULTI JOG**ダイヤルを押して **メニュー** 画面に戻ります。

出力レベルを設定する

本機の出力先の機器にて最大出力レベル時に音が歪む場合は、この機能の設定で出力レベルを絞ることで音が歪まないように調整することができます。

1. メニュー画面の **出力レベル** 項目を選択し、**MULTI JOG**ダイヤルを押します。(→ 14ページ「メニュー操作の手順」)
出力レベル画面が表示されます。



2. **MULTI JOG**ダイヤルを回して、出力レベルを設定します。
選択肢：0dB (初期値) ~ -14dB (1dB刻み)
3. 設定が終了したら、**STOP/HOME** [■] ボタンを押してホーム画面に戻ります。

環境設定

使用環境や条件に合わせて本機を快適に使うためのさまざまな設定を、メニュー画面で行います。(→ 14ページ「メニュー操作の手順」)

電池の種類の設定

電池タイプ 項目で、使用する電池の種類を設定します。この設定は、電池の残量表示や正常動作に必要な最低残量の識別に使用されます。

- 選択肢：アルカリ (初期値)、
ニッケル水素 (ニッケル水素電池)、
リチウム (リチウム乾電池)

電源のオートパワーセーブ機能の設定

自動電源制御 項目で、最後に動作あるいは操作してから自動的に電源がオフになるまでの時間を設定します。

- 選択肢：オフ (自動オフしない)、3分、5分、10分、
30分 (初期値)

バックライトの設定

バックライト 項目で、最後に操作してから自動的にバックライトが消灯するまでの時間を設定します。

- 選択肢：オフ (消灯)、5秒 (初期値)、10秒、15秒、30秒、
常時 (常に点灯)

ディスプレイのコントラスト調節

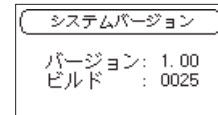
画面の濃さ 項目でディスプレイのコントラストを調節します。

- 選択肢：1 ~ 20 (初期値：5)

システム情報を見る

システムバージョン 画面で本機のシステムファームウェアのバージョン情報を見ることができます。

1. メニュー画面の **システムバージョン** 項目を選択し、**MULTI JOG**ダイヤルを押します。(→ 14ページ「メニュー操作の手順」)
システムバージョン 画面に現在のシステムファームウェアのバージョン情報が表示されます。



2. 確認が終了したら、**STOP/HOME** [■] ボタンを押してホーム画面に戻ります。

表示言語を設定する

言語 項目で、ディスプレイに表示される言語を切り換えることができます。

1. メニュー画面の **言語** 項目を選択し、**MULTI JOG**ダイヤルを押します。

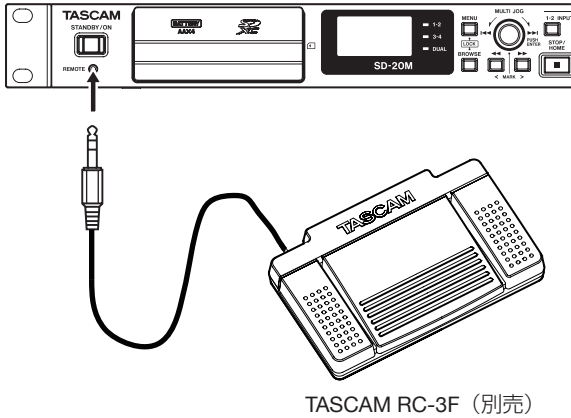


2. **MULTI JOG**ダイヤルを回して言語を選択します。
選択肢：ENGLISH、日本語
3. 確認のポップアップメッセージが表示されます。
4. **MULTI JOG**ダイヤルを回して「はい」を選択し、**MULTI JOG**ダイヤルを押すことで、言語設定を実行します。言語を変更しない場合は「いいえ」を選択し、**MULTI JOG**ダイヤルを押します。

第8章 REMOTE端子を使う

本機には、REMOTE端子が用意されています。
別売の専用のフットスイッチ型リモートコントローラー(TASCAM RC-3F) または別売の専用ワイヤードリモコン (TASCAM RC-10) を接続して、本機を操作することができます。

フットスイッチを使う (TASCAM RC-3F)



TASCAM RC-3F (別売)

フットスイッチを設定する

- メニュー画面の **リモコン** 項目を選択し、**MULTI JOG**ダイヤルを押します。(→ 14ページ「メニュー操作の手順」)
リモコン画面が表示されます。



- コントローラ項目を **RC-3F** に設定します。
(初期値 : RC-3F)
- モード項目を選択し、フットスイッチのスイッチモードを設定します。

選択肢 : 再生 (初期値)、録音1、録音2、議事録

モード	フットスイッチ		
	L	C	R
再生	◀◀	▶/■	▶▶
録音1	■	●/	▶▶
録音2	■	●/	マーク
議事録	↶	▶/■	速度

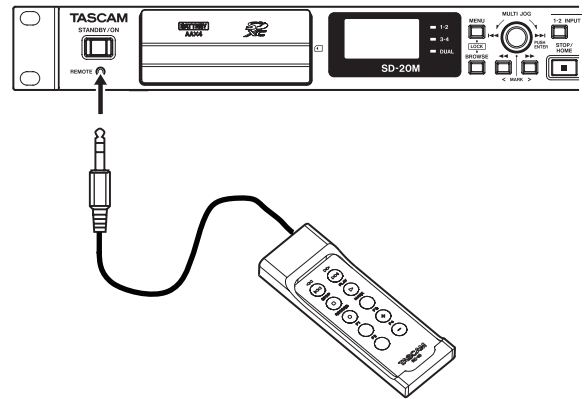
マーク : マーク機能
↶ : ジャンプバック再生
速度 : Variable Speed機能のオン/オフ
(上記以外は、本体機能と同じです)

- 設定が終了したら、**STOP/HOME [■]** を押してホーム画面に戻ります。

フットスイッチを使う

フットスイッチの各ペダルを踏むと、リモコン画面で割り当てられた動作を行います。

リモコンを使う (TASCAM RC-10)



TASCAM RC-10 (別売)

ワイヤードリモコンを設定する

- メニュー画面の **リモコン** 項目を選択し、**MULTI JOG**ダイヤルを押します。(→ 14ページ「メニュー操作の手順」)
リモコン画面が表示されます。
- コントローラ項目を **RC-10** に設定します。
(初期値 : RC-3F)



ファンクションボタンの詳細

ファンクションボタン			
F1	F2	F3	F4
REPEAT	SPEED*	SPEED+	SPEED-

※ SPEED CHANGE (Variable Speed機能のオン/オフ)

- 設定が終了したら、**STOP/HOME [■]** を押してホーム画面に戻ります。

ワイヤードリモコンを使う

ワイヤードリモコンの各ファンクションボタン (F1 ~ F4) を押すと、リモコン画面で割り当てられた動作を行います。

以下にポップアップメッセージの一覧表を示します。

SD-20Mでは、状況に応じてポップアップメッセージが表示されますが、それぞれのメッセージの内容を知りたいとき、および対処方法を知りたいときにこの表をご覧ください。

メッセージ	内容と対処方法
書き込みエラー 録音継続中	メディアへの書き込みが間に合いませんでした。音声ノイズになってしまいます。ノイズの位置にBOFマークをセットします。
この位置では 分割できません	ファイル分割の実行時に分割位置が適切ではありません。(ファイルの先頭、ファイルの最後)
SDカードエラー	カードを正常に認識できません。カードを交換してください。
カードがいっぱい	カードの残容量がありません。不要なファイルを削除するかパソコンへ移動してください。
カード速度低下 BOFマーク要確認	メッセージ「書き込みエラー 録音継続中」が出た後、録音を止めたときに表示されます。SDカードの書き込み性能が低下しているため、Erase Formatをするか、別のSDカードに交換してください。ノイズの位置は、BOFマーク付近の音声を確認してください。(→ 24ページ「マークの位置への移動」)
MP3ファイルは 分割できません	MP3ファイルの分割はできません。
ファイル名重複	ファイル分割により作成されるファイルと同じファイル名のファイルが同じフォルダー内にすでに存在します。ファイル分割を行うとファイル名の末尾に「a」または「b」が追加されます。ファイル分割を行う前にパソコンで、ファイル名を変更してください。
ファイル数超過	フォルダーとファイルの総数が制限値(5000個)を超えました。不要なフォルダーやファイルを削除するかパソコンへ移動してください。
ファイル名エラー	ファイル分割によりファイル名の文字数が200文字を超えました。ファイル分割を行うとファイル名の末尾に「a」または「b」が追加されます。ファイル分割を行う前にパソコンで、198文字以下のファイル名に変更してください。
ファイルがありません	プレイリストに登録されているファイルが見つからないか、ファイルが壊れている可能性があります。対象のファイルを確認してください。
ファイルがありません	プレイリストに登録されているファイルが見つかりません。SOUNDフォルダー内に対象のファイルがあるか確認してください。
読み込み専用 ファイルです	読み込み専用ファイルのため、削除できません。

メッセージ	内容と対処方法
フォーマット エラー フォーマット します	カードが正常にフォーマットされていないか、カードが壊れている可能性があります。このメッセージは、パソコンでFATフォーマットした場合や未フォーマットのカードを挿入した場合にも表示されます。フォーマットは、必ずSD-20M本体で行ってください。カードを交換するか、このメッセージが表示されている状態で MULTI JOG ダイヤルを押すと、FATフォーマットが実行されます。FATフォーマットが実行されるとカード内のデータは、全て消去されます。
このSDカードは 使えません SDを変えて ください	カードが正常でない可能性があります。カードを交換してください。
不正システム ファイル 再作成します	本機を使用するために必要なシステムファイルが正常ではありません。このメッセージが表示されている状態で MULTI JOG ダイヤルを押すと、新しいシステムファイルが作られます。
ファイルサイズ超	ファイルのサイズが指定のサイズを超えました。あるいは、録音時間が24時間を超えました。
HBAエラー 初期化します	カードが正常にフォーマットされていないか、カードが壊れている可能性があります。カードを交換するか、このメッセージが表示されている状態で MULTI JOG ダイヤルを押すと、FATフォーマットが実行されます。
SDカードが ありません	SDカードがセットされていません。録音可能なSDカードを挿入してください。
音声ファイルが ありません	再生ファイルがないため、ファイル分割は実行できません。
ファイルが ありません	再生可能なファイルがありません。ファイルが壊れている可能性があります。
プレイリストが ありません	プレイリストにファイルが登録されていません。プレイリストにファイルを登録するか、プレイモードを「再生リスト」以外に設定してください。
サポート外	ファイル形式がサポート対象外です。取り扱い可能なファイル形式については、32ページ「第6章 再生」をご覧ください。
プレイリストが いっぱいです	プレイリストがいっぱいです。プレイリストには、最大99ファイルまで登録可能です。
タイムアウト	カードへの書き込みが間に合いませんでした。ファイルをパソコンへバックアップの上、フォーマットを実行してください。

第9章 メッセージ

メッセージ	内容と対処方法
保存できません	これらのエラーが出た場合は、本体の電源を入れ直してください。 電源を切ることができない場合は、電池や付属の専用ACアダプター（TASCAM PS-P1220E）を外してください。 これらのエラーが頻繁に発生する場合は、ティアック修理センターにご相談ください。
デバイスエラー	
ファイルエラー	
継続できません	
再生エラー	
リモコンコマンド	
リモコン受信	
書き込み失敗	
ロムエラー	
システムエラー 50	
システムエラー 1	
システムエラー 2	
システムエラー 3	
システムエラー 4	
システムエラー 5	
システムエラー 6	
システムエラー 7	
システムエラー 8	
システムエラー 9	

第10章 トラブルシューティング

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の点検を行ってください。それでも改善しないときは、お買い上げ店またはティアック修理センターにご連絡ください。

電源が入らない。

- 電池が消耗していませんか？
- 電池の⊕、⊖を間違っってセットしていませんか？
- 付属の専用ACアダプター（TASCAM PS-P1220E）の電源プラグおよびコンセントプラグがしっかりと差し込まれていますか？

電源が自動的に切れてしまう。

- オートパワーセーブ機能が設定されていませんか？（→ 35ページ「電源のオートパワーセーブ機能の設定」）
 - 本機は欧州待機時電力規制（ErP）に対応しているため、ACアダプター・電池使用時にかかわらずオートパワーセーブ機能が動作します。オートパワーセーブ機能を使用したくないときは「OFF」に設定してください（工場出荷時には「30分」に設定されています）。

SDカードを認識しない。

- SDカードがしっかりと挿入されているか確認してください。

再生できない。

- WAVファイルの場合は、本機が対応しているサンプリング周波数であるかどうかを確認してください。
- MP3ファイルの場合は、本機が対応しているビットレートであるかどうかを確認してください。

音が出ない。

- モニターシステムとの接続をもう一度確認してください。また、アンプの音量を確認してください。

録音できない。

- 接続をもう一度確認してください。
- 入力設定をもう一度確認してください。
- 入力レベルが低くなっていませんか？
- SDカード容量がいっぱいになっていませんか？
- ファイル数が最大数に達していませんか？
- 音源のレベルを確認してください。

入力レベルが低い。

- 入力レベル設定が低くなっていませんか？
- 接続した外部機器の出力レベルが低くなっていませんか？

録音しようとする音が歪んで聴こえる。

- 入力レベル設定が大きすぎませんか？

再生音が不自然に聴こえる。

- 再生のスピードを変えていませんか？

ファイルが消去できない。

- パソコンで読み取り専用を設定したファイルをコピーしたものを消去しようとしていませんか？

第11章 仕様

定格

記録メディア

SDカード (64MB ~ 2GB)
SDHCカード (4GB ~ 32GB)
SDXCカード (48GB ~ 128GB)

録音再生フォーマット

BWF : 44.1k/48k/96kHz、16/24ビット
WAV : 44.1k/48k/96kHz、16/24ビット
MP3 : 44.1k/48kHz、32k/64k/96k/128k/192k/256k
/320kbps

チャンネル数

4チャンネル (ステレオ x2)

入出力定格

アナログオーディオ入出力定格

MIC/LINE INPUT 1 / 2端子 (BALANCED、XLRのみファントム電源対応)

コネクター :
XLR-3-31
(1 : GND、2 : HOT、3 : COLD)
φ6.3mm (1/4") TRS標準ジャック
(Tip : HOT、Ring : COLD、Sleeve : GND)

MIC時 (ファントム電源対応)

入力インピーダンス : 2.7kΩ
最大入力レベル : 0dBu (Gain : 低感度)
最小入力レベル : -67dBu (Gain : 高感度)

LINE時

入力インピーダンス : 10kΩ以上
基準入力レベル : +4dBu
最大入力レベル : +20dBu
最小入力レベル : -12dBu

INPUT 3/L / 4/R端子 (UNBALANCED)

コネクター : RCAピンジャック
入力インピーダンス : 10kΩ以上
基準入力レベル : -10dBV
最大入力レベル : +6dBV
最小入力レベル : -26dBV

OUTPUT端子

コネクター : RCAピンジャック
基準出力レベル : -10dBV
最大出力レベル : +6dBV
出力インピーダンス : 200Ω

PHONES端子

コネクター : φ6.3mm (1/4") ステレオ標準ジャック
最大出力 : 20mW + 20mW (32Ω負荷時、歪率:0.1%)

コントロール入出力定格

REMOTE端子

コネクター : φ2.5mm TRSジャック

オーディオ性能

周波数特性

20-20kHz +1/-3dB
(INPUT 1-2 to OUTPUT、Fs44.1k/48kHz JEITA*)
20-40kHz +1/-3dB
(INPUT 1-2 to OUTPUT、Fs96kHz、JEITA*)

歪率

0.01%以下
(INPUT 1-2 to OUTPUT、Fs44.1k/48k/96kHz、JEITA*)

S/N比

100dB以上
(INPUT 1-2 to OUTPUT、Fs44.1k/48k/96kHz、JEITA*)

※ JEITA : JEITA CP-2150準拠

一般

電源

専用ACアダプター (TASCAM PS-P1220E)
単3形電池4本
(アルカリ乾電池、ニッケル水素電池またはリチウム乾電池)

消費電力

5W (最大時)

消費電流

1A (最大時)

電池持続時間（連続使用時）

● アルカリ乾電池（EVOLTA）使用時

使用条件	持続時間
1-2チャンネル／ライン入力 2ch WAV / 44.1kHz、16ビットで録音	約2時間45分
1-2チャンネル／マイク入力、 ファントム電源使用時 2ch WAV / 44.1kHz、16ビットで録音	約1時間45分
1-2チャンネル／マイク入力、 ファントム電源未使用 3-4チャンネル／ライン入力 4ch WAV / 44.1kHz、16ビットで録音	約1時間15分

● ニッケル水素電池（eneloop）使用時

使用条件	持続時間
1-2チャンネル／ライン入力 2ch WAV / 44.1kHz、16ビットで録音	約3時間45分
1-2チャンネル／マイク入力、 ファントム電源使用時 2ch WAV / 44.1kHz、16ビットで録音	約2時間30分
1-2チャンネル／マイク入力、 ファントム電源未使用 3-4チャンネル／ライン入力 4ch WAV / 44.1kHz、16ビットで録音	約1時間45分

● リチウム乾電池（Energizer ULTIMATE LITHIUM）使用時

使用条件	持続時間
1-2チャンネル／ライン入力 2ch WAV / 44.1kHz、16ビットで録音	約7時間
1-2チャンネル／マイク入力、 ファントム電源使用時 2ch WAV / 44.1kHz、16ビットで録音	約5時間15分
1-2チャンネル／マイク入力、 ファントム電源未使用 3-4チャンネル／ライン入力 4ch WAV / 44.1kHz、16ビットで録音	約5時間

外形寸法

482.6 x 45 x 299.6mm（幅 x 高さ x 奥行き）

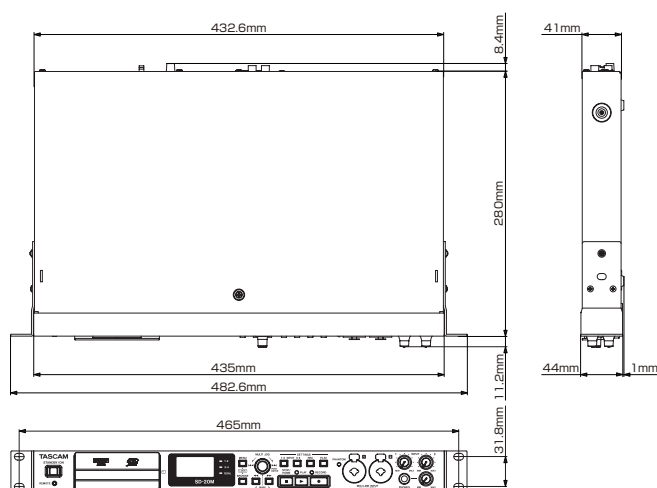
質量

2.8kg / 2.7kg（電池を含む / 電池を含まず）

動作温度

5 ~ 35℃

寸法図



- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により、仕様および外觀が予告なく変更することがあります。



無料修理規定（持ち込み修理）

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。無償修理の対象は、お客様が日本国内において購入された日本国内向け当社製品に限定されます。
3. ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
4. 次の場合には、保証期間内でも有償修理となります。
 - (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (2) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - (4) 接続しているほかの機器に起因する故障および損傷
 - (5) 業務上の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
 - (6) メンテナンス
 - (7) 本書の提示がない場合
 - (8) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名（印）の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- * この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。

ティアック株式会社 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

● 電話 **042-356-9137** 携帯電話・PHS・IP電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-809** 一般電話から

● FAX **042-356-9185**

受付時間は、10:00～12:00 / 13:00～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

● 電話 **04-2901-1033** 携帯電話・PHS・IP電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-501** 一般電話から

● FAX **04-2901-1036**

受付時間は、9:30～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Printed in China

0721.MA-2934B

保証書

品名 および 形名	SD-20M	
機番		
保証期間	本体	1年

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

お買い上げ日	年 月 日	
お客様	お名前	
	ご住所	

販売店	
電話	()

見本

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

ティアック修理センター

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

電話：0570-000-501 / 04-2901-1033

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

